

TD Bridge for Linux

テクニカルリファレンスガイド

TD Bridge の概要

仕様

準備

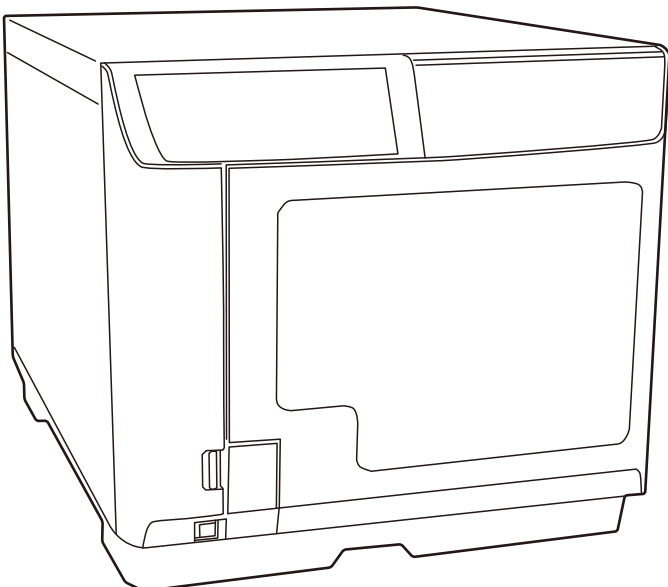
ソフトウェアの使い方

サンプルプログラムの使い方

連携アプリケーション開発ガイド

トラブルシューティング

付録



ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について



Windows[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2021-2024

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

 重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、Discproducer (PP-100III / PP-50II / PP-100NEII) を使ったディスク発行システムの開発、設計に必要なすべての情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

- 第 1 章 [TD Bridge の概要](#)
- 第 2 章 [仕様](#)
- 第 3 章 [準備](#)
- 第 4 章 [ソフトウェアの使い方](#)
- 第 5 章 [サンプルプログラムの使い方](#)
- 第 6 章 [連携アプリケーション開発ガイド](#)
- 第 7 章 [トラブルシューティング](#)
- 付録 [Windows との比較](#)
 [依存ライブラリーの確認](#)
 [オープンソースソフトウェアの著作権について](#)

サンプルコードについて

本書内のデータフォルダー、ファイルの指定方法で例示している “\” (バックスラッシュ) は、日本語のシステムでは “¥” (円マーク) で表示されます。

掲載画像と説明について

本書では、UOS で説明します。これ以外のディストリビューションおよびバージョンの場合には読み替えてください。

目次

■ 安全のために	3
記号の意味	3
■ 使用制限	3
■ 本書について	4
本書の目的	4
本書の構成	4
サンプルコードについて	4
掲載画像と説明について	4
■ 目次	5

TD Bridge の概要 7

■ TD Bridge for Linux とは	7
ソフトウェア構成	7
構成図	8

仕様 9

■ 端末の動作環境	9
ディストリビューションおよび CPU	9
Discproducer モデル	9
依存ライブラリー	10
■ パッケージの仕様	11
■ ディスクの仕様	13
ディスクの種類と記録フォーマット	13
記録フォーマットと制限事項	14
レーベル印刷仕様	15
■ メンテナンス部品について	16
■ 制限事項	17

準備 18

■ NeoKylin Desktop	18
yum の設定変更	19
依存ライブラリーのインストール	19
エプソン製ソフトウェアのインストール	19
エプソン製ソフトウェアのアンインストール	19
Linux 環境設定	20
Discproducer 本体の接続	20
■ UOS Desktop	21
エプソン製ソフトウェアのインストール	22
エプソン製ソフトウェアのアンインストール	23

Linux 環境設定	24
Discproducer 本体の接続	24

■ Kylin V10 25

依存ライブラリーのインストール	25
エプソン製ソフトウェアのインストール	26
エプソン製ソフトウェアのアンインストール	26
Linux 環境設定	26
Discproducer 本体の接続	27

■ Kylin V10 SP1 28

依存ライブラリーのインストール	28
エプソン製ソフトウェアのインストール	29
エプソン製ソフトウェアのアンインストール	29
Linux 環境設定	29
Discproducer 本体の接続	30

ソフトウェアの使い方 31

■ Total Disc Setup 31

Total Disc Setup の起動	31
Total Disc Setup の画面構成	32

■ Total Disc Maker Lite の使い方 39

Total Disc Maker Lite の起動	39
Total Disc Maker Lite の画面構成	39

■ Total Disc Monitor の使い方 42

Total Disc Monitor の起動	42
Total Disc Monitor の画面構成	42

■ レーベルファイルの準備 (Inkscape) 45

Inkscape の起動	45
Inkscape のドキュメントの設定	46

サンプルプログラムの使い方 .. 47

■ サンプルプログラムの一覧 47 |

■ サンプルコードのコピーとビルド 48

サンプルコードのコピー	48
cmake で Makefile を生成	48
make でビルド	49
サンプルプログラムの実行	49

連携アプリケーション開発ガイド 50

■ プログラミングフロー 50

■ 基本シーケンス図..... 53

Discproducer のステータスを取得.....	53
JOB ステータスを取得.....	53
ディスクの発行.....	54
差し込み印刷.....	55
マルチセッション処理.....	56

■ API 関数..... 58

API 一覧.....	58
PP100_Initialize.....	60
PP100_Destroy.....	61
PP100_ConnectServer.....	62
PP100_DisConnectServer.....	63
PP100_EnumPublishers.....	64
PP100_GetPublisherStatus.....	65
PP100_GetJobStatus.....	66
PP100_GetJobStatusEX.....	67
PP100_CreateJob.....	68
PP100_GetCreatedJobList.....	69
PP100_CopyJob.....	70
PP100_DeleteJob.....	71
PP100_SubmitJob.....	72
PP100_CancelJob.....	73
PP100_SubmitSession.....	74
PP100_GetMultiSession.....	75
PP100_SetSessionTimeout.....	76
PP100_GetSessionTimeout.....	77
PP100_GetSessionCount.....	78
PP100_GetDiscRemaining.....	79
PP100_SetPublisher.....	80
PP100_GetPublisher.....	81
PP100_SetCopies.....	82
PP100_GetCopies.....	83
PP100_SetOutStacker.....	84
PP100_GetOutStacker.....	85
PP100_SetInStacker.....	86
PP100_GetInStacker.....	87
PP100_SetDiscType.....	88
PP100_GetDiscType.....	89
PP100_SetWritingSpeed.....	90
PP100_GetWritingSpeed.....	91
PP100_SetCompare.....	92
PP100_GetCompare.....	93
PP100_SetFormat.....	94
PP100_GetFormat.....	95
PP100_SetData.....	96
PP100_AddData.....	97
PP100_DeleteData.....	98
PP100_GetData.....	99
PP100_SetVolumeLabel.....	100
PP100_GetVolumeLabel.....	101
PP100_SetLabel.....	102
PP100_GetLabel.....	103
PP100_SetLabelType.....	104
PP100_GetLabelType.....	105
PP100_SetReplaceFieldText.....	106
PP100_AddReplaceFieldText.....	107

PP100_DeleteReplaceFieldText.....	108
PP100_GetReplaceFieldText.....	109
PP100_SetLabelArea.....	110
PP100_GetLabelArea.....	111
PP100_SetPrintMode.....	112
PP100_GetPrintMode.....	113

■ 構造体..... 114

PP100_ENUM_PUBLISHER_INFO.....	114
PP100_INK_STATUS.....	114
PP100_PUBLISHER_STATUS.....	115
PP100_JOB_STATUS.....	116
PP100_JOB_STATUS_EX.....	117
PP100_WRITE_DATA.....	117
PP100_REPLACE_FIELD_TEXT.....	117

■ 定数定義..... 118

機器情報.....	118
発行モード.....	118
ドライブステータス / プリンタステータス.....	118
USB 接続モード.....	118
JOB 種別.....	119
JOB ステータス.....	119
JOB 定義用定数.....	120

■ エラーコード..... 121

ジョブ受付前.....	121
ジョブ受付後.....	123
INFORMATION コード.....	128

■ 差し込み印刷の方法..... 132

レーベルファイルの準備.....	133
印刷する文字を設定.....	133
ジョブを発行.....	133

■ マルチセッション書き込み機能..... 134

トラブルシューティング 136

■ ログ..... 136

■ 依存ライブラリーのインストール..... 136

付録..... 137

■ Windows との比較..... 137

■ 依存ライブラリーの確認..... 138

■ オープンソースソフトウェアの著作権について..... 139

TD Bridgeの概要

本章ではPP-100III / PP-50II / PP-100NEII 連携アプリケーションを作成していただくために、TD Bridge for Linuxの概要と動きについて説明します。また、動作環境と作成できるディスク仕様、連携アプリケーションの構築例をご紹介します。

本書ではPP-100III / PP-50II / PP-100NEIIをまとめて表記する場合、Discproducerと表示します。

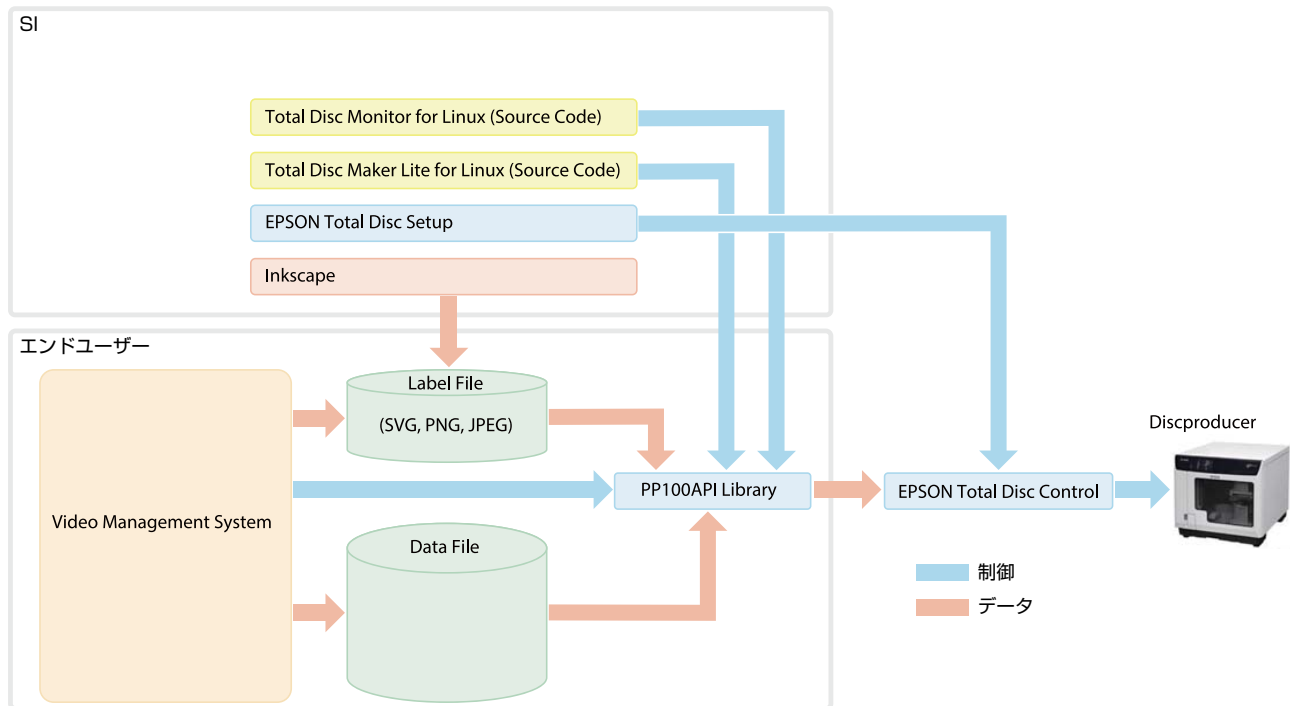
TD Bridge for Linux とは

TD Bridge for Linux は、Linux環境でDiscproducerシリーズを、利用できるようにするソフトウェアです。

ソフトウェア構成

項目	インストールフォルダー	説明
TD Bridge for Linux Installer (epson-tdbridge-pp100api)	/opt/epson/Total Disc Maker	以下のファイルがインストールされます。
EPSON Total Disc Control daemon	/opt/epson/Total Disc Maker/bin	Discproducerを制御するプログラムです。
PP-100 API library(.so)	/opt/epson/Total Disc Maker/lib	Discproducerをお客様のプログラムから利用するためのライブラリーファイルおよびヘッダファイルです。
PP-100 API library(.h)	/opt/epson/Total Disc Maker/include	Discproducerをお客様のプログラムから利用するためのライブラリーファイルおよびヘッダファイルです。
Total Disc Setup for Linux	/opt/epson/Total Disc Maker/bin	Discproducerを登録し、設定するためのソフトウェアです。
Total Disc Maker Lite for Linux	/opt/epson/Total Disc Maker/bin	書き込みデータとレーベル面の印刷データの登録、およびDiscproducerでの発行を行うことができるGUI付きのサンプルプログラムです。
Total Disc Monitor for Linux	/opt/epson/Total Disc Maker/bin	Discproducerの状態をパソコンから確認できるGUI付きサンプルプログラムです。
Sample program code for PP-100 API (Written in Language C)	/opt/epson/Total Disc Maker/sample	Discproducerをライブラリー経由で利用するためのサンプルプログラムです。
Sample code		Step 1～Step 6が用意されています。
Total Disc Maker		Total Disc Maker Lite for Linuxのソースコードです。
Total Disc Monitor		Total Disc Monitor for Linux のソースコードです。
Sample Label file	/opt/epson/Total Disc Maker/label	サンプル用のレーベルファイル(SVG形式)です。
Epson Printer Communication module installer (epson-printer-io-pro)	/opt/epson/epson-printer-io-pro	エプソン共通の通信モジュールです。
		依存ライブラリーライセンスファイルです。 EULA

構成図



仕様

本章では、TD Bridge for Linuxの仕様について説明しています。

端末の動作環境

ディストリビューションおよび CPU

OS	システム要件	バージョン	使用可否
UOS Desktop Professional	Zhaoxin (x86_64/amd64)	V20	✓
	Kunpeng 920, FT-2000, FTD-2000(arm64)	V20	✓
	Intel x86_64/ amd64	V20	✓
	Loongson 3A5000 (loongarch64)	V20	✓
NeoKylin Desktop	Intel x86_64/ amd64	Release 7.0 (Kernel version 26)	✓
Kylin V10	Intel x86_64/ amd64	-	✓
	Kunpeng 920, FT-2000, FTD-2000(arm64)	-	✓
Kylin V10 SP1	Intel x86_64/ amd64	-	✓
	Kunpeng 920, FT-2000, FTD-2000(arm64)	-	✓
	Loongson 3A4000 (mips64el)	-	✓
	Loongson 3A5000 (loongarch64)	-	✓

Discproducer モデル

機種	同時接続台数
PP-100III	最大2台
PP-50II	最大1台
PP-100NEII	最大2台

依存ライブラリー

Discproducerディスク発行アプリケーション本体は、以下のライブラリーが必要です。

- libpng1.6.x
- libusb1.0.x
- Inkscape
- imagemagick/
- GraphicsMagick
- Qt5

サンプルプログラムのビルドには、以下のソフトウェアが必要です。

- gcc および標準ライブラリー
- make
- cmake
- Qt5

パッケージの仕様

OSの環境ごとに、以下の10パッケージがあります。

OS, CPU	Zip ファイル	コンテンツ
UOS Desktop amd64 (=x86_64)	TDBridge_linux_V2xx_UOS_amd64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x-UOS_amd64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x-UOS_amd64.deb
		Manual with OSS License
		EULA
UOS Desktop arm64 (=aarch64)	TDBridge_linux_V2xx_UOS_arm64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x-UOS_arm64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x-UOS_arm64.deb
		Manual with OSS License
		EULA
UOS Desktop 3A5000 (=loongarch64)	TDBridge_linux_V2xx_UOS_loongarch64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x-UOS_loongarch64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x-UOS_loongarch64.deb
		Manual with OSS License
		EULA
NeoKylin Desktop amd64 (=x86_64)	TDBridge_linux_V2xx_nd7.x86_64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_nd7.x86_64.rpm
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_nd7.x86_64.rpm
		Manual with OSS License
		EULA
Kylin V10 amd64	TDBridge_linux_V2xx_KV10_amd64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_amd64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_amd64.deb
		Manual with OSS License
		EULA
Kylin V10 arm64	TDBridge_linux_V2xx_KV10_arm64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_arm64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_arm64.deb
		Manual with OSS License
		EULA
Kylin V10 SP1 Intel x86_64/ amd64	TDBridge_linux_V2xx_KV10_amd64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_amd64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_amd64.deb
		Manual with OSS License
		EULA
Kylin V10 SP1 Kunpeng 920/ FT2000	TDBridge_linux_V2xx_KV10_arm64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_arm64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_arm64.deb
		Manual with OSS License
		EULA

OS, CPU	Zip ファイル	コンテンツ
Kylin V10 SP1 3A4000	TDBridge_linux_V2xx_KV10_mips64el.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_mips64el.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_mips64el.deb
		Manual with OSS License
		EULA
Kylin V10 SP1 3A5000	TDBridge_linux_V2xx_KV10_loongarch64.zip	epson-printer-io-pro_1.x.x_loongarch64.deb
		epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_loongarch64.deb
		Manual with OSS License
		EULA

ディスクの仕様

ディスクの種類と記録フォーマット

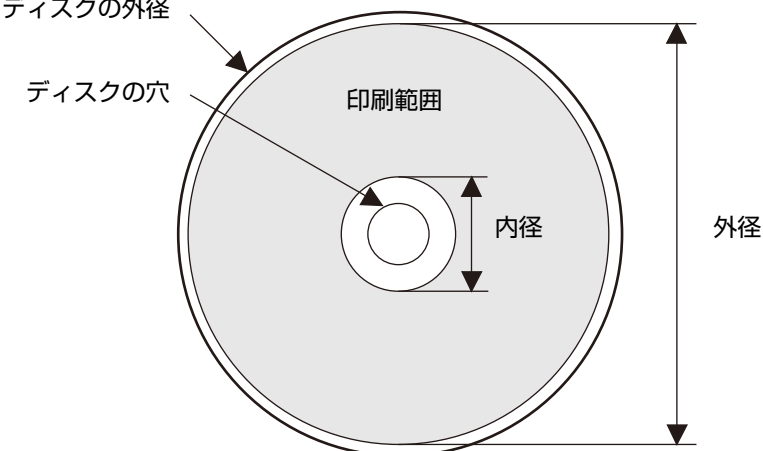
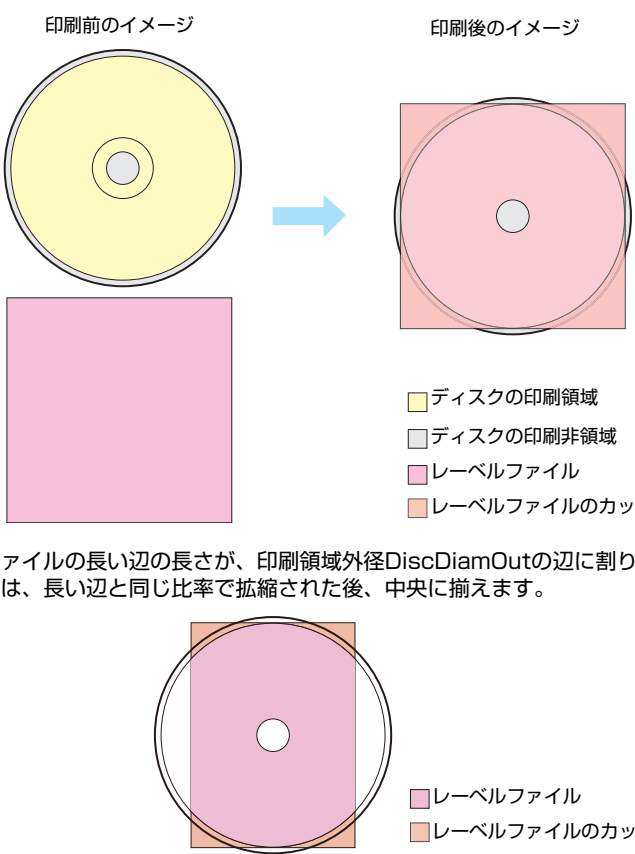
作成可能なディスクとフォーマットは以下のとおりです。

項目		仕様		ディスクアット ワンス	マルチセッション
ディスク種類		CD-R	650MB / 700MB	✓	✓
		DVD-R	4.7GB (片面1 層)	✓	✓
		DVD+R	4.7GB (片面1 層)	✓	-
		DVD-R DL	8.5GB (片面 2層)	✓	-
		DVD+R DL	8.5GB (片面 2層)	✓	-
		BD-R	25GB (片面1層)	✓	✓
		BD-R DL	50GB (片面2層)	✓	✓
		BD-R XL 100	100GB (片面3層)	✓	✓
		BD-R XL 128	128GB (片面4層)	✓	✓
記録フォーマット	AudioCD	AudioCD		-	-
	データCD	ISO9660レベル2		✓	-
		Joliet		-	-
		UDF1.02		✓	✓
	Video-CD	Video-CD		-	-
	データDVD	UDF1.02		✓	✓
		UDF1.50		-	-
		UDF1.02 + ISO Bridge		-	-
	DVD-Video	DVD-Video		-	-
	データBD	UDF1.02		✓	✓
		UDF2.60		✓	-

記録フォーマットと制限事項

記録 フォーマット	ファイル名 フォルダー名に 使用できない文字	文字数制限		最大フォルダー 階層数
		ファイル名	フォルダー名	
ISO9660L2	"a~z" [] \ ^ ' { } @ # \$ % ' / : * ? " < > ; 全角	31文字 (ドット「.」+拡張子3文字を含む) (62 Byte)	31文字 (62 Byte)	8階層
Joliet	\ / : * ? " < > ;	64文字 (ドット「.」+拡張子3文字を含む) (128 Byte)	64文字 (128 Byte)	128階層
UDF102	\ / : * ? " < >	126文字 (ドット「.」+拡張子3文字を含む) (252 Byte)	126文字 (252 Byte)	128階層
UDF150	\ / : * ? " < >	126文字 (ドット「.」+拡張子3文字を含む) (252 Byte)	126文字 (252 Byte)	128階層
UDF102_BRIDGE	"a~z" [] \ ^ ' { } @ # \$ % ' / : * ? " < > ; 全角	31文字 (ドット「.」+拡張子3文字を含む) (62 Byte)	31文字 (62 Byte)	8階層
UDF260	\ / : * ? " < >	126文字 (ドット「.」+拡張子3文字を含む) (252 Byte)	126文字 (252 Byte)	128階層

レーベル印刷仕様

項目		仕様
対応ファイル		PNG, Jpeg, SVG
差し込み印刷		SVGのみ
印刷範囲	外径	70.0 - 119.4 mm
	内径	18.0 - 50.0 mm
<p>レーベルファイルは、ディスクの中心に合わせて配置されます。</p> <p>ディスクの外径</p> <p>ディスクの穴</p> <p>印刷範囲</p> <p>内径</p> <p>外径</p> 		
レーベルの位置合わせ		<p>作成したレーベルファイルのサイズが、ディスクの印刷領域と同じ場合、以下のように印刷されます。</p> <p>印刷前のイメージ</p> <p>印刷後のイメージ</p>  <p>■ ディスクの印刷領域</p> <p>■ ディスクの印刷非領域</p> <p>■ レーベルファイル</p> <p>■ レーベルファイルのカットされる部分</p> <p>画像ファイルの長い辺の長さが、印刷領域外径DiscDiamOutの辺に割り当てられます。短い辺は、長い辺と同じ比率で拡張された後、中央に揃えます。</p>

メンテナンス部品について

下記の部品は、PP100_PUBLISHER_STATUSの値を確認し、適切なタイミングで交換をしてください。

メンテナンス部品	寿命時の動き	対応する変数	交換目安
インク	印刷できなくなる。	stInkStatus	0
メンテナンスボックス	印刷できなくなる。	ulMaintenanceBoxFreeSpace	メンテナンスボックスの寿命：0
ドライブ	書き込みエラーが発生する。	ulDriveLife	100
オートローダー	搬送ミスが増える。	ulCompleteDiscNum	PP-100III： 75,000枚 PP-50II： 15,000枚 PP-100NEII：30,000枚


制限事項

- ジョブの優先度は、変更できません。
- ジョブは、一時停止できません。ユーザーが Total Disc Monitor、あるいは API 経由でジョブをキャンセルしてください。(PP-100 API および Total Disc Monitor には、JOB 一時停止の機能はありません。)
- ジョブの発行中には、他の接続機器を含めて USB 機器・USB ケーブルの挿抜や電源の ON/OFF をしないでください。
- root 権限でドライブにアクセスするコマンドは、実行しないでください。


準備

本章では、Discproducer ディスク発行アプリケーション for Linuxのインストールから、Discproducer本体の接続までの手順について説明しています。

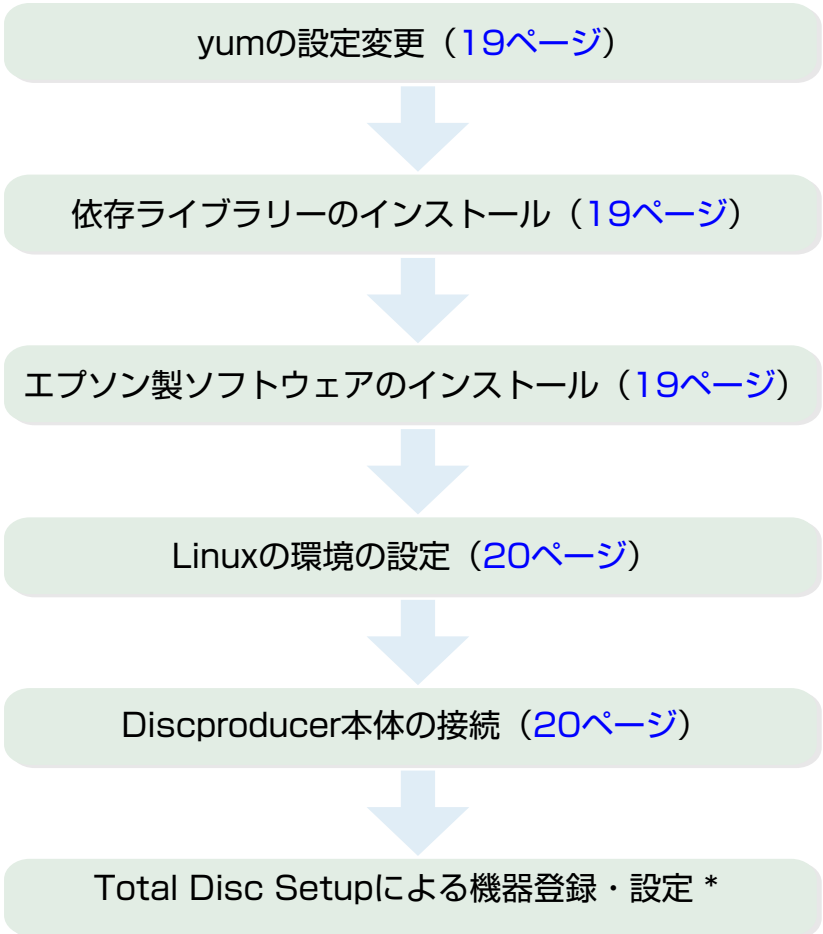
- NeoKylin Desktop ([18 ページ](#))
- UOS Desktop ([21 ページ](#))
- Kylin V10 ([25 ページ](#))
- Kylin V10 SP1 ([28 ページ](#))

 参考	ソフトウェアのインストールは、root 権限で実行してください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------

NeoKylin Desktop

 参考	バージョン 1.0 からアップデートするときは、既存のエプソン製ソフトウェアをアンインストールしてから、インストールしてください。この場合、機器の登録情報等は引き継がれません。 バージョン 2.x からアップデートするときは、既存のエプソン製ソフトウェアを rpm -Uvh コマンドでインストールしてください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

OSがNeoKylin Desktopの場合、以下の手順でインストールします。



* 詳細は、第4章[31ページ](#)「[Total Disc Setup](#)」を参照してください。

yum の設定変更

必要に応じて、パッケージマネージャーのリポジトリを追加します。

例

```
/etc/yum.repos.d/neokylin.repo
```

```
[neokylin-extras]
name= NeoKylin 7.0 extras
baseurl=http://download.cs2c.com.cn/neokylin/desktop/everything/7.0/$basearch/zx/os/
enabled=1
gpgcheck=0
gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-neokylin-$basearch
```

依存ライブラリーのインストール

必要な依存ライブラリーがインストールされていない場合、手動で追加のインストールをします。

必要な依存ライブラリーの詳細は、[10ページ「依存ライブラリー」](#)を参照してください。

例

```
# yum install inkscape
```

エプソン製ソフトウェアのインストール

以下のコマンドでエプソン製ソフトウェアをインストールします。

例

```
# rpm -Uvh epson-printer-io-pro-1.2.x.rpm
# rpm -Uvh epson-tdbridge-pp100api-2.x.x-amd64.rpm
```

エプソン製ソフトウェアのアンインストール

エプソン製ソフトウェアをアンインストールする場合には、以下のコマンドを実行します。

例

```
# rpm -e epson-printer-io-pro
# rpm -e epson-tdbridge-pp100api
```

Linux 環境設定

TD Bridge for Linuxを動作させるコンピューターの設定を行います。

電源設定

以下の設定を行ってください。

- 電源がコンセントに接続された状態で使用する。
- スリープにならない設定にする。

例



Discproducer 本体の接続

Discproducer本体をLinux環境のコンピューターに接続します。

以下の手順で接続します。詳細は、Discproducer本体の同梱マニュアルを参照してください。

- 1 Discproducer の電源を入れます。
- 2 USB ケーブルで Discproducer 本体と Linux 環境のコンピューターを接続します。

UOS Desktop

OSがUOS Desktopの場合、以下の手順でインストールします。

エプソン製ソフトウェアのインストール ([22ページ](#))



Linuxの環境の設定 ([24ページ](#))



Discproducer本体の接続 ([24ページ](#))



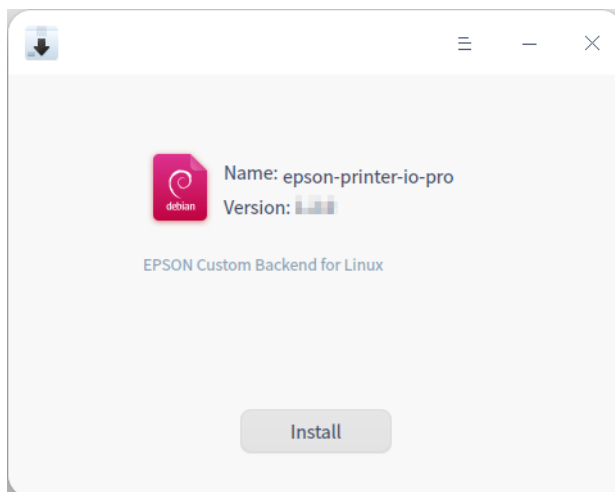
Total Disc Setupによる機器登録・設定 *

* 詳細は、第4章[31ページ](#)「[Total Disc Setup](#)」を参照してください。

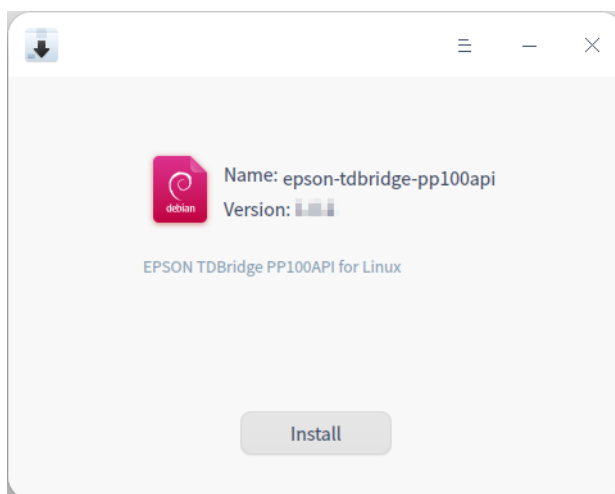
エプソン製ソフトウェアのインストール

以下の手順でインストールしてください。

- 1 `epson-printer-io-pro_XXX.deb` をダブルクリックし、エプソン共通の通信モジュールをインストールします。



- 2 `epson-tdbridge-pp100api_XXX.deb` をダブルクリックし、TD Bridge for Linux をインストールします。



3

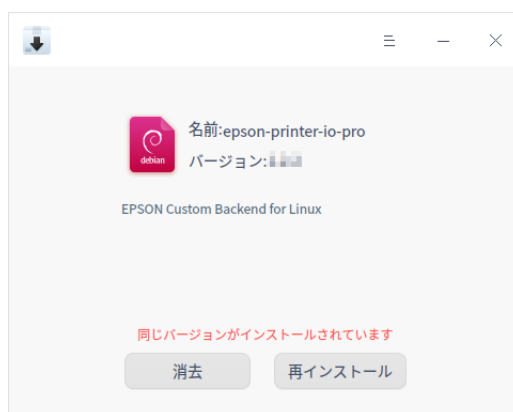
エプソン製ソフトウェアのアンインストール

epson-printer-io-proとepson-tdbridge-pp100apiをアンインストールします。

- 1 deb ファイルをダブルクリックします。



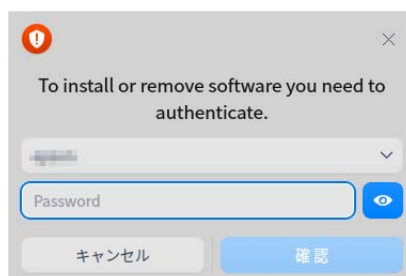
- 2 [消去] をクリックします。epson-printer-io-pro がアンインストールされます。



- 3 [確定] をクリックします。



- 4 パスワードを入力します。



以上で、epson-printer-io-proとepson-tdbridge-pp100apiがアンインストールされます。

Linux 環境設定

TD Bridge for Linuxを動作させるコンピュータの設定を行います。

電源設定

以下の設定を行ってください。

- 電源がコンセントに接続された状態で使用する。
- スリープにならない設定にする。

例



Discproducer 本体の接続

Discproducer本体をLinux環境のコンピュータに接続します。

以下の手順で接続します。詳細は、Discproducer本体の同梱マニュアルを参照してください。

- 1 Discproducer の電源を入れます。
- 2 USB ケーブルで Discproducer 本体と Linux 環境のコンピュータを接続します。

Kylin V10

OSがKylin V10の場合、以下の手順でインストールします。

依存ライブラリーのインストール ([25ページ](#))



エプソン製ソフトウェアのインストール ([26ページ](#))



Linuxの環境の設定 ([26ページ](#))



Discproducer本体の接続 ([27ページ](#))



Total Disc Setupによる機器登録・設定 *

* 詳細は、第4章[31ページ](#)「Total Disc Setup」を参照してください。

依存ライブラリーのインストール

必要な依存ライブラリーがインストールされていない場合、手動で追加のインストールをします。
必要な依存ライブラリーの詳細は、[10ページ](#)「依存ライブラリー」を参照してください。

例

```
# apt update
# apt autoremove
# apt install inkscape
# apt install libpng16-16
```

エプソン製ソフトウェアのインストール

例

```
# dpkg -i epson-printer-io-pro_1.2.x_amd64.deb
# dpkg -i epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_amd64.deb
```

エプソン製ソフトウェアのアンインストール

エプソン製ソフトウェアをアンインストールする場合には、以下のコマンドを実行します。

例

```
# dpkg -P epson-tdbridge-pp100api
# dpkg -P epson-printer-io-pro
```

Linux 環境設定

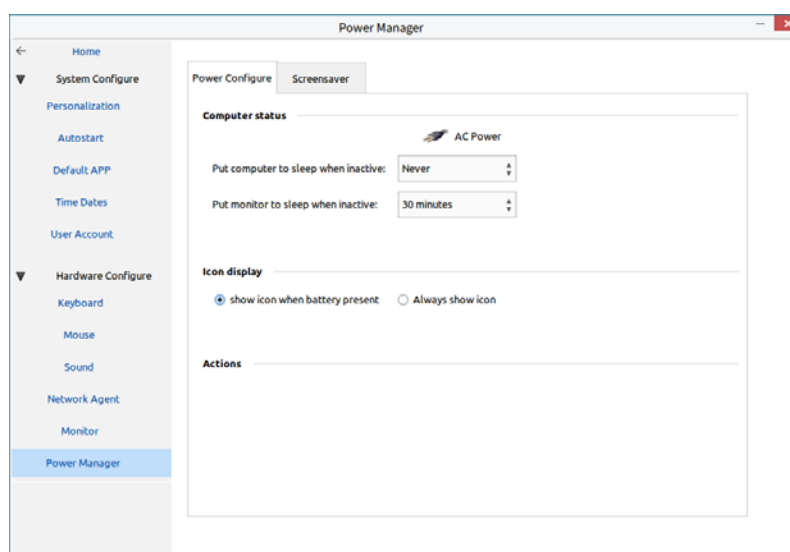
TD Bridge for Linuxを動作させるコンピュータの設定を行います。

電源設定

以下の設定を行ってください。

- 電源がコンセントに接続された状態で使用する。
- スリープにならない設定にする。

例



Discproducer 本体の接続

Discproducer本体をLinux環境のコンピューターに接続します。

以下の手順で接続します。詳細は、Discproducer本体の同梱マニュアルを参照してください。

- 1 Discproducer の電源を入れます。
- 2 USB ケーブルで Discproducer 本体と Linux 環境のコンピューターを接続します。

Kylin V10 SP1

OSがKylin V10 SP1の場合、以下の手順でインストールします。

依存ライブラリーのインストール ([25ページ](#))



エプソン製ソフトウェアのインストール ([26ページ](#))



Linuxの環境の設定 ([26ページ](#))



Discproducer本体の接続 ([27ページ](#))



Total Disc Setupによる機器登録・設定 *

* 詳細は、第4章[31ページ](#)「Total Disc Setup」を参照してください。

依存ライブラリーのインストール

必要な依存ライブラリーがインストールされていない場合、手動で追加のインストールをします。
必要な依存ライブラリーの詳細は、[10ページ](#)「依存ライブラリー」を参照してください。

例

```
# apt update
# apt autoremove
# apt install inkscape
# apt install libpng16-16
```

エプソン製ソフトウェアのインストール

例

```
# dpkg -i epson-printer-io-pro_1.2.x_amd64.deb
# dpkg -i epson-tdbridge-pp100api_2.x.x_amd64.deb
```

エプソン製ソフトウェアのアンインストール

エプソン製ソフトウェアをアンインストールする場合には、以下のコマンドを実行します。

例

```
# dpkg -P epson-tdbridge-pp100api
# dpkg -P epson-printer-io-pro
```

Linux 環境設定

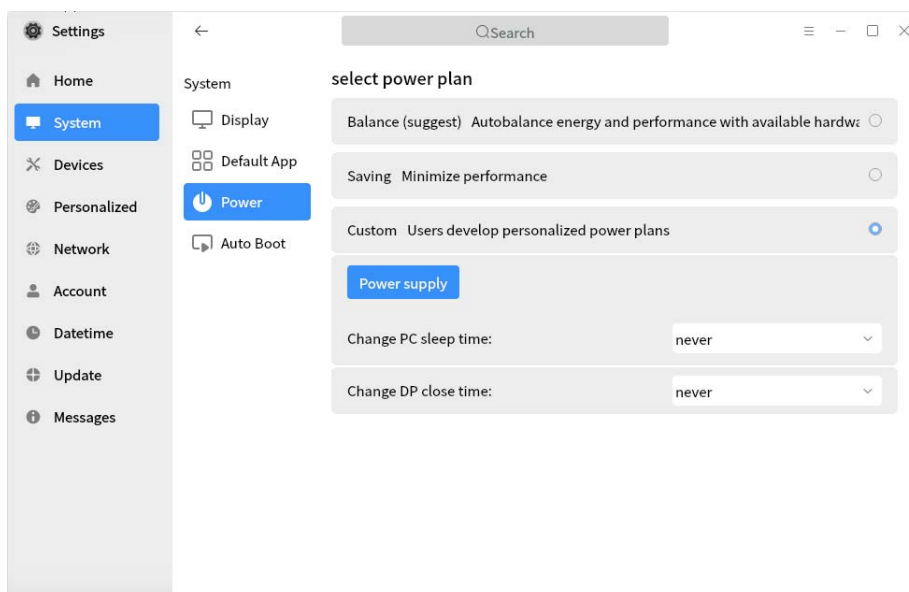
TD Bridge for Linuxを動作させるコンピューターの設定を行います。

電源設定

以下の設定を行ってください。



- 電源がコンセントに接続された状態で使用する。
- スリープにならない設定にする。

例

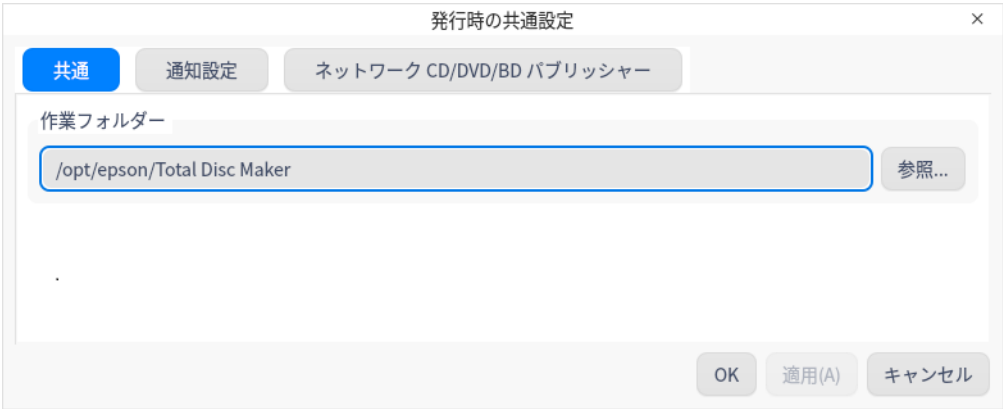


作業フォルダーの設定

Kylin V10 SP1は、作業フォルダーが80Gbyte限定のため、BD-R XLを作成できません。BD-R XLを作成する場合は、作業フォルダーを作成してください。

 重要	作業フォルダーのアクセス権設定はユーザーが行ってください。 アンインストール時に作業フォルダーは削除してください。
 参考	<ul style="list-style-type: none">作業フォルダーは、PP-100III / PP-50II / PP-100NEII 発行時に使用します。/run, /tmp 等のディレクトリは、作業フォルダーに指定しないでください。OS が自動的にファイルやディレクトリを削除する場合があります、誤作動の原因になります。

作業フォルダーを作成したら、Total Disc Setupに登録してください。



Discproducer 本体の接続

Discproducer本体をLinux環境のコンピューターに接続します。
以下の手順で接続します。詳細は、Discproducer本体の同梱マニュアルを参照してください。

- 1 Discproducer の電源を入れます。
- 2 USB ケーブルで Discproducer 本体と Linux 環境のコンピューターを接続します。

ソフトウェアの使い方

本章では、エプソンが提供しているソフトウェアの使い方、およびTD Bridge for Linuxに必要なソフトウェアについて説明します。

Total Disc Setup

EPSON Total Disc Setupは、Discproducerをコンピューターに登録するソフトウェアです。また、発行モード、使用するスタッカーやドライブなど、Discproducerでディスクを発行するための基本的な設定を行います。



参考

- すべてのコンピューターで必ず設定してください。
- ジョブの実行中に Discproducer の設定変更はできません。

Total Disc Setup の起動

以下の方法で起動します。

- NeoKylin Desktop :
[スタートメニュー] - [所有座用] - [アクセサリ] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックし起動します。
- UOS Desktop :
[スタートメニュー] の [Search] に「ep」と入力し、メニューリストに表示される [EPSON Total Disc Setup] をクリックし起動します。
- Kylin V10 :
[Start] - [All App] - [Accessories] - [EPSON Total Disc Setup] の順にクリックし起動します。

Total Disc Setup の画面構成

セットアップ画面



項目		仕様
1	登録	Discproducerを登録します。
2	削除	登録されているDiscproducerを削除します。 リストの中から選択しているDiscproducerが削除されます。
3	プロパティ	リストの中から選択しているDiscproducerの[プロパティ] 画面を表示します。
リスト	名前	リストに登録したDiscproducerの名前を表示します。
	機種名	Discproducerの機種名 (PP-XXX) を表示します。
	ホスト名	ホスト名を表示します。
	状態	Discproducerの状態を表示します。
	発行待ちJOB	Discproducerの発行待ちJOB数を表示します。
	通信中JOB	Discproducerの通信中JOB数が表示されます。
	HDD空き容量	Discproducerの内蔵HDDの空き領域が表示されます。



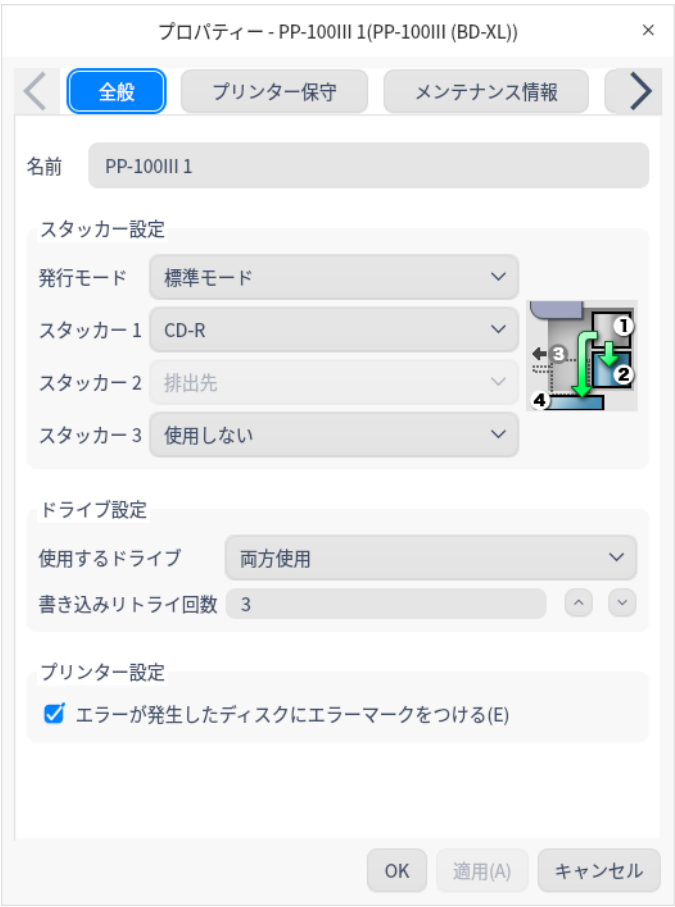
参考

【状態】が " サポート外バージョン " になっている場合は、Server System Soft バージョン 3.30 以降をインストールしてください。




プロパティ画面

全般 (PP-100III / PP-50II)




項目	仕様
名前	Discproducerの名前を変更できます。ここで名前を変更することもできます。
スタッカー設定	発行モード、スタッカーにセットするディスクの種類、排出先を設定します。 (PP-100III) 発行モード、スタッカー 1,2,3を設定できます。 (PP-50II) 発行モード、スタッカー 1,2を設定できます。
ドライブ設定	(PP-100III) 使用するドライブ、書き込みエラーが発生したときの再試行回数を設定します。 (PP-50II) 書き込みエラーが発生した際の、再試行回数を設定します。
プリンター設定	エラーが発生したディスクにエラーマークを印刷するか設定します。

 **参考**

スタッカーの設定を変更した場合、Total Disc Maker Lite を再起動してください。
Total Disc Maker Lite を再起動するまで、スタッカーの設定は Total Disc Maker Lite に反映されません。再起動前に発行した JOB は、JOB 受付前エラーになります。

プリンター保守



項目	仕様
ノズルチェック	プリントヘッドの目詰まりを確認するパターンを印刷します。プリンターが目詰まりを確認します。クリックした後に表示される画面の指示に従って操作してください。
ヘッドクリーニング	プリントヘッドが目詰まりした際に、プリントヘッド（ノズル）を清掃します。インクが消費されます。クリックした後に表示される画面の指示に従って操作してください。
 参考	ギャップ調整、印刷位置補正は、Windows 環境の Total Disc Setup から設定してください。

メンテナンス情報

プロパティ - PP-100III 1(PP-100III (BD-XL))

<

全般

プリンター保守

メンテナンス情報

>

総発行枚数:

21827 [枚]

印刷枚数:

20061 [枚]

メンテナンスボックス空き容量:

55.42 [%]

ドライブ 1 寿命:

9 [%]

ドライブ 2 寿命:

7 [%]

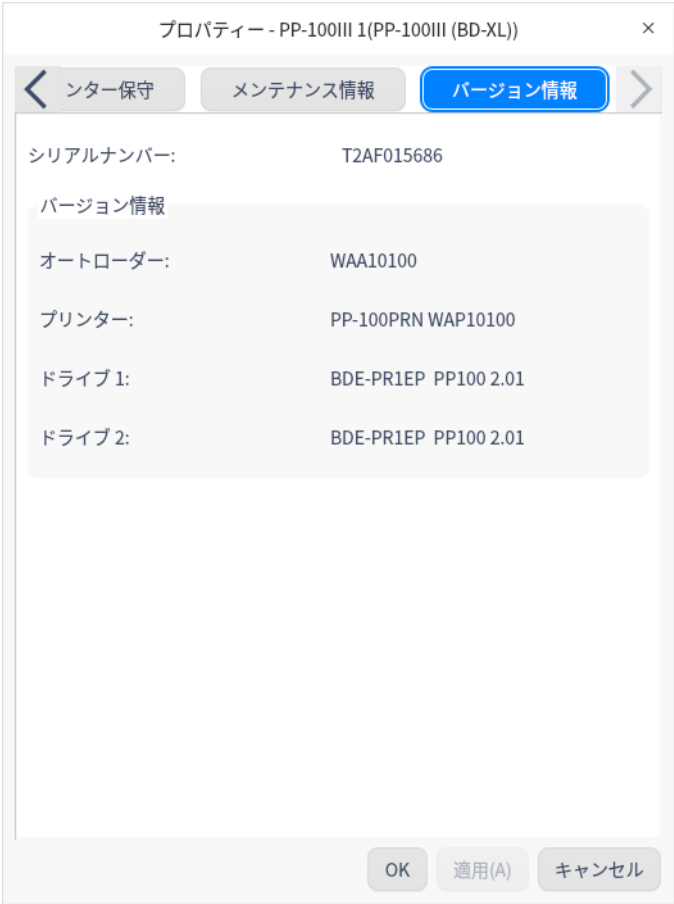
OK

適用(A)

キャンセル

項目	仕様
総発行枚数 (PP-100III)	現在までに発行したディスクの累積枚数が表示されます。(印刷していない枚数も含まれます。)
印刷枚数	現在までに印刷したディスクの累計枚数が表示されます。
メンテナンスボックス空き容量 (PP-100III)	メンテナンスボックスの空き容量が0～100%で表示されます。0%に近くなると、メンテナンスボックスの交換時期です。
ドライブ 1 寿命/ドライブ 2 寿命 (PP-100III / PP-100NEII)	ドライブの寿命が表示されます。100%に近くなると交換時期です。
ドライブ寿命 (PP-50II)	ドライブの寿命が表示されます。100%に近くなると交換時期です。

バージョン情報



項目	仕様
シリアルナンバー	Discproducerのシリアル番号が表示されます。
オートローダー	Discproducerに内蔵されているオートローダーのファームウェアのバージョンが表示されます。
プリンター	Discproducerに内蔵されているプリンターのファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ1 (PP-100III / PP-100NEII)	Discproducerに装着されているドライブ1のファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ2 (PP-100III / PP-100NEII)	Discproducerに装着されているドライブ2のファームウェアのバージョンが表示されます。
ドライブ (PP-50II)	Discproducerに内蔵されているドライブのファームウェアのバージョンが表示されます。

共通

発行時の共通設定

共通

通知設定

ネットワーク CD/DVD/BD パブリッシャー

作業フォルダー

/opt/epson/Total Disc Maker

参照...

OK

適用(A)

キャンセル

項目	仕様
作業フォルダー	ディスク作成時の作業フォルダーを指定します。

通知設定 (PP-100III)

発行時の共通設定

共通

通知設定

ネットワーク CD/DVD/BD パブリッシャー

通知方法

☒ JOB 終了時、または供給元スタッカーが空になった時にブザーを鳴らす (PP-100III)

JOB 終了時の通知

☐ JOB 終了ごとに通知する

☒ すべての JOB が終了したら通知する

OK

適用(A)

キャンセル

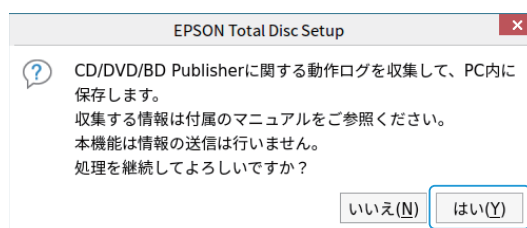
項目		仕様
JOB終了時、または供給元スタッカーが空になった時にブザーを鳴らす (PP-100III)		チェックボックスにチェックを付けると、JOBが終了したこと、または供給元スタッカーが空になったことをブザーで通知します。
JOB終了時の通知	<div>JOB終了ごとに通知する</div> <div>すべてのJOBが終了したら通知する</div>	JOB終了時の通知を、JOBの終了ごとに通知するか、すべてのJOBが終了したら通知するかのどちらかを選択できます。

ログ取得機能

- 1 [ツール] - [ログの収集と保存] をクリックします。



- 2 [はい] をクリックします。



- 3 ファイルを保存します。

Total Disc Maker Lite の使い方

Total Disc Maker Liteは、Discproducer ディスク発行アプリケーションの基本機能を備えたソフトウェアです。書き込みデータとレーベル面の印刷データの登録、およびディスクの発行ができます。

このソフトウェアで提供している機能は、お客様のアプリケーションに組み込むこともできます。GUI付きのサンプルプログラムとして提供しています。



参考

Total Disc Maker Lite の起動中に、Discproducer の設定を変更した場合は、Total Disc Maker Lite を再起動をしてください。

Total Disc Maker Lite の起動

以下の方法で起動します。

- NeoKylin Desktop :
[スタートメニュー] - [所有座用] - [アクセサリ] - [EPSON Total Disc Maker Lite] の順にクリックし起動します。
- UOS Desktop :
[スタートメニュー] の [Search] に「ep」と入力し、メニューリストに表示される [EPSON Total Disc Maker Lite] をクリックし起動します。
- Kylin V10 :
[Start] - [All App] - [Accessories] - [EPSON Total Disc Maker Lite] の順にクリックし起動します。

Total Disc Maker Lite の画面構成



項目	仕様	対応 API	対応定数
記録面			
1. データを書き込む	DISCに記録を行うか指定します。	PP100_SetData	
2. ファイルの追加	DISCに記録するファイルを指定します。		


項目	仕様	対応 API	対応定数
記録面			
3. フォルダの追加	DISCに記録するフォルダを指定します。指定されたフォルダーの下にサブフォルダーがある場合、サブフォルダーも一緒に記録されます。		
4. ファイルシステム	ISO9660: 主にCD用	PP100_SetFormat	PP100API_ISO9660L2
	UDF1.02: 主にDVD用		PP100API_UDF102
	UDF2.60: 主にBD用		PP100API_UDF260
5. ボリュームラベル	DISCのボリュームラベルを指定します。	PP100_SetVolumeLabel	
印刷面			
6. レーベル印刷する	レーベル面に印刷するか指定します。	PP100_SetLabel	
7. ファイル選択	レーベル面に印刷する画像ファイルを指定します。 (SVG,PNG,JPEG)		
8. 内径 (cm)	初期値:4.50 最大500、最小180 (値は0.1mm単位)	PP100_SetLabelArea	
9. 外形 (cm)	初期値:11.60、 最大1,194、最小180 (値は0.1mm単位)		
共通			
10. 出力機器機	出力する機器を選択します。 Total Disc Setupで登録した機器を選択します。	PP100_SetPublisher	
11. プロパティ	選択した出力機器の[プロパティ]ダイアログが表示されます。	PP100_GetPublisherStatus	
12. 発行モード	選択した出力機器の発行モードが表示されます。 発行モードの選択により、[供給元]、[排出先] が異なりますので設定内容を確認してください。 発行モードの変更は、[プロパティ] ダイアログで行ってください。	PP100_GetPublisherStatus(ulMode)	標準モード: PP100API_NORMAL_MODE
			外部排出モード: PP100API_OUTPUT_MODE
			バッチ処理モード: PP100API_BATCH_MODE
13. 供給元	空のディスクを挿入するスタッカーを選択します。 (外部排出モード/少量発行モードの時だけ有効)	PP100_SetInStacker	PP100API_STACKER1
			PP100API_STACKER2
			PP100API_STACKER1_OR_STACKER2
		PP100_SetDiscType	PP100API_CD
			PP100API_DVD
			PP100API_DVD_DL
			PP100API_BD
			PP100API_BD_DL
			PP100API_BD_XL100
PP100API_BD_XL128			
14. 排出先	発行されたディスクが排出されるスタッカーを選択します。 (標準モードの時のみ有効)	PP100_SetOutStacker	PP100API_STACKER2
			PP100API_STACKER3
			PP100API_STACKER4

項目	仕様	対応 API	対応定数
共通			
15. 書き込み確認	[なし]: 発行後の書き込み確認をしない設定にします。	PP100_SetCompare	PP100API_DONT_COMPARE
	[コンペア]: 発行後に登録したデータとコンペアし、書き込みを確認します。		PP100API_COMPARE
16. レーベル種類	[CD/DVDレーベル]: 標準の印刷です。	PP100_SetLabelType	PP100API_CD_DVD_LABEL
	[高画質対応CD/DVDレーベル]: 高画質な印刷です。		PP100API_CD_DVD_PREMIUM_LABEL
	[光沢CD/DVDレーベル]: 光沢のある印刷です。		PP100API_EPSON_SPECIFIED_CD_DVD_LABEL
17. 印刷モード設定	[1]: 印刷品質を重視したレーベル印刷を行います。[2]に比べると印刷品質が向上しますが、印刷速度は遅くなります。	PP100_SetPrintMode	PP100API_PRINTMODE1
	[2]: 印刷速度を重視したレーベル印刷を行います。[1]に比べると印刷速度が速くなりますが、印刷品質は低くなります。		PP100API_PRINTMODE2
18. 枚数	発行枚数（1～1000 枚）を指定します。	PP100_SetCopies	
19. 発行	編集集中のファイルを発行します。	PP100_CreateJob ～ PP100_SubmitJob	
<div>  参考 </div> <ul style="list-style-type: none"> 設定したデータに誤りがあるとエラーコードを表示します。 発行ボタンが有効になるまで、Total Disc Maker Lite を終了させないでください。ボタンが有効でないときはイメージファイルができていないため、ディスクの作成が失敗します。 			

Total Disc Monitor の使い方

Total Disc Monitorは、CD/DVD/BDパブリッシャーの状態を調べて、CD/DVD/BDパブリッシャーの現在の状態、インク残量、JOBの状態などを表示するソフトウェアです。

このソフトウェアで提供している機能は、お客様のアプリケーションに組み込むこともできます。GUI付きのサンプルプログラムとして提供しています。

 **参考**

- Windows 版に搭載されている、JOB の一時停止はできません。
- 本ソフトウェアは、一台の機器に対して複数起動できます。

Total Disc Monitor の起動

- 以下の方法で起動します。
- NeoKylin Desktop :
[スタートメニュー] - [所有座用] - [アクセサリ] - [EPSON Total Disc Monitor] の順にクリックし起動します。
 - UOS Desktop :
[スタートメニュー] の [Search] に「ep」と入力し、メニューリストに表示される [EPSON Total Disc Monitor] をクリックし起動します。
 - Kylin V10 :
[Start] - [All App] - [Accessories] - [EPSON Total Disc Monitor] の順にクリックし起動します。

Total Disc Monitor の画面構成

機器選択画面



項目	仕様
機器名	モニタリングする機器を選択します。機器名には、Total Disc Setupで登録した機器が表示されます。
OK	メイン画面表示され、選択した機器のモニタリングが開始します。
キャンセル	Total Disc Monitor画面が閉じられます。

メイン画面



項目	仕様	引数
共通 (API: PP100_GetJobStatusEx)		
Window Title	Total Disc Setupで登録した際の機器の名前を表示します。	pPublisherName [65]
発行待ちJOBタブ (API: PP100_GetJobStatusEx)		
JOB名	PP100_CreateJobで返されるJOB IDとボリュームラベルが、ジョブ名として表示されます。"JobID(ボリュームラベル)"で表示されます。	pJobID
状態	発行待ちなどJOBの状態が表示されます。	ulJobStatus
枚数	発行するディスクの正常発行済み枚数/全枚数が表示されます。処理の進捗状況が進捗バーで表示されます。	ulPublicationNumber
種類	書き込み、印刷、発行（印刷と書き込み）、読み込み、測定などJOBの種類が表示されます。	ulJobType
供給元	ディスク供給元のスタッカ-番号が表示されます。	ulSource
排出先	ディスク排出先のスタッカ-番号が表示されます。	ulDestination
処理予想時間	JOBが終了するまでにかかる時間が表示されます。処理が進むにつれて表示は更新されます。	ulEstimateTime

項目	仕様	引数
完了JOBタブ (API: PP100_GetJobStatusEx)		
JOB名	PP100_CreateJobで返されるJOB IDとボリュームラベルが、ジョブ名として表示されます。"JobID(ボリュームラベル)"で表示されます。	pJobID
状態	JOB完了時の状態が表示されます。	ulJobStatus
成功枚数	書き込み、印刷、測定、発行などが成功したディスクの枚数が表示されます。	ulCompletionNumber
失敗枚数	書き込み、印刷、測定、発行などが失敗したディスクの枚数が表示されます。	ulErrorNumber
指定枚数	作成するディスクとして指定した全枚数が表示されます。	ulPublicationNumber
種類	書き込み、印刷、発行（印刷と書き込み）、読み込み、測定などJOBの種類を表示します。	ulJobType
排出先	ディスク排出先のスタッカー番号が表示されます。	ulDestination
デバイスの状態 (API: PP100_GetPublisherStatus)		
デバイスの状態	通信ができないときや、CD/DVD/BD/パブリッシャーでエラーが発生しているときなどは、エラーの内容が表示されます。	ulINFORMATIONCode [50] ulErrorCode
インク残量表示	インク残量が表示されます。	stInkStatus
CD/DVD/BDドライブの状態表示	CD/DVD/BDドライブの状態が表示されます。	ulDriveStatus [2]
CD/DVD/BDドライブの進捗状態	書き込み中、書き込み確認中、読み込み中、測定中の場合、処理の進捗状況が進捗バーで表示されます。	ulDriveProgress [2]
プリンターの状態表示	プリンターの状態が表示されます。	ulPrinterStatus
発行モード	発行モードが表示されます。	ulMode
スタッカー 1/2の状態表示	現在設定されている発行モードとスタッカーの状態が表示されます。	ulStackerSetting [4] ulStackerRest [4]
スタッカー 3の状態表示	現在設定されている発行モードとスタッカーの状態が表示されます。	ulStackerSetting [4] ulStackerRest [4]
スタッカー 4の状態表示	現在設定されている発行モードとスタッカーの状態が表示されます。	ulStackerSetting [4] ulStackerRest [4]
USB接続モード	現在接続されているUSBの接続モード（USB 2.0/3.0）をアイコンで表示します。	ulUsbConnectionMode

レーベルファイルの準備(Inkscape)

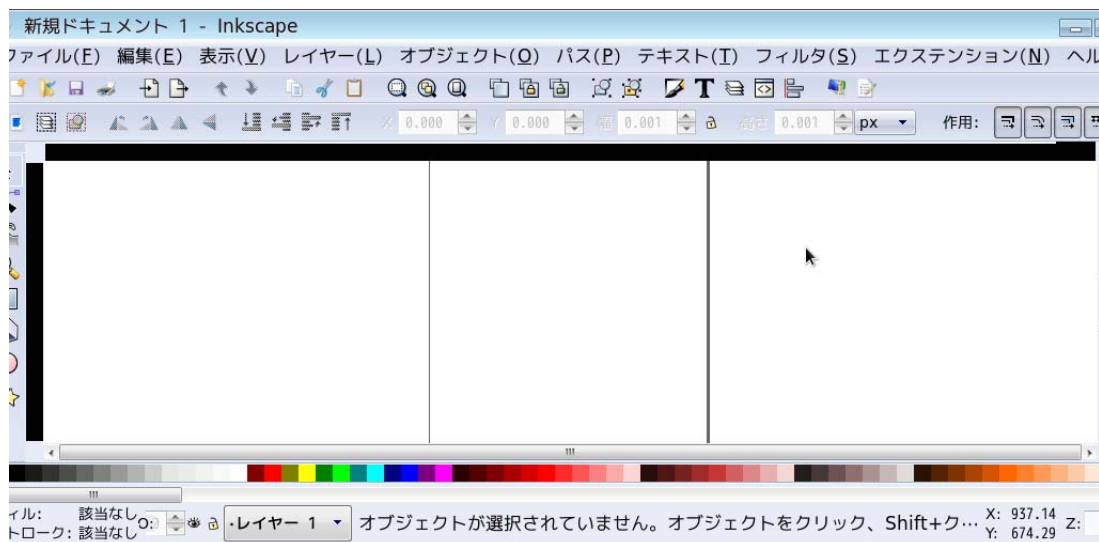
Inkscapeはベクター画像をプロフェッショナル品質で作成、編集できるソフトウェアです。Inkscapeは、W3Cオープン規格のSVG（Scalable Vector Graphics）を、ネイティブのフォーマットとして採用しています。

InkscapeのHelpをご覧ください。

Inkscape の起動

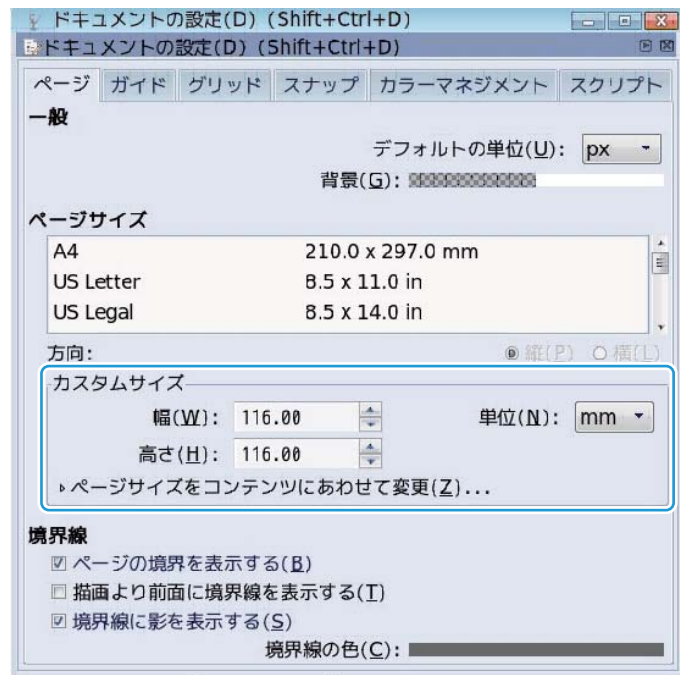
以下の方法で起動します。

- NeoKylin Desktop :
[スタートメニュー] - [所有座用] - [グラフィック] - [Inkscape] の順にクリックし起動します。
- UOS Desktop :
[スタートメニュー] - [グラフィック] - [Inkscape] の順にクリックし起動します。
- Kylin V10 :
[Start] - [All App] - [Inkscape] の順にクリックし起動します。



Inkscape のドキュメントの設定

ページ設定のカスタムサイズを、印字領域の外径に合わせて設定します。




サンプルプログラムの使い方

本章では、サンプルプログラムの使い方について説明します。

サンプルプログラムの一覧

TD Bridge for Linux PP-100 API (epson-tdbridge-pp100api-2.x.x) をインストールすると、サンプルプログラムがインストールされます。

 参考	サンプルプログラムは、以下のディレクトリーに保存されます。 /opt/epson/Total Disc Maker/sample
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

以下のサンプルプログラムが用意されています。

ディレクトリー	説明
Step 1	APIの基本的な使用法(Step 1)のソースコード
Step 2	APIの基本的な使用法(Step 2)のソースコード
Step 3	APIの基本的な使用法(Step 3)のソースコード
Step 4	機器と、既存のジョブのステータス表示
Step 5	記録面のJOB発行
Step 6	差し込み印刷のJOB発行
Step 7	マルチセッション書き込みと差し込み印刷のJOB発行
Total Disc Maker Lite for Linux	Total Disc Maker Lite for Linuxのソースコード (ソフトウェアの機能は、 39ページ「Total Disc Maker Liteの使い方」 を参照してください。)
Total Disc Monitor for Linux	Total Disc Monitorのソースコード (ソフトウェアの機能は、 42ページ「Total Disc Monitorの使い方」 を参照してください。)

サンプルコードのコピーとビルド

サンプルコードのコピー

以下のコマンドでサンプルコードをコピーします。

```
$ cd ~  
$ mkdir pp100api_sample  
$ cp -r /opt/epson/Total Disc Maker/sample/* ~/pp100api_sample/
```

cmake で Makefile を生成

以下のコマンドでMakefileを生成します。

```
$ cd ~/pp100api_sample  
$ mkdir build  
$ cd build  
$ cmake ..
```



参考

Linux 環境に make, cmake が無い場合、以下のコマンドでインストールしてください。
<NeoKylin Desktop>

```
# yum install make  
# yum install cmake  
# yum install gcc-c++  
# yum install qt5-qtbase-devel  
# yum install qt5-linguist
```

<UOS Desktop>

```
# apt install make  
# apt install cmake  
# apt install g++  
# apt install qtbase5-dev  
# apt install qttools5-dev
```

<Kylin V10/ Kylin V10 SP1>

```
# apt install qtbase5-dev  
# apt install qttools5-dev  
# apt install qttools5-dev-tools
```


make でビルド

以下のコマンドでサンプルコードをビルドします。

```
$ cd ~/pp100api_sample/build  
$ make
```

サンプルプログラムの実行

以下のコマンドでサンプルコードを実行します。

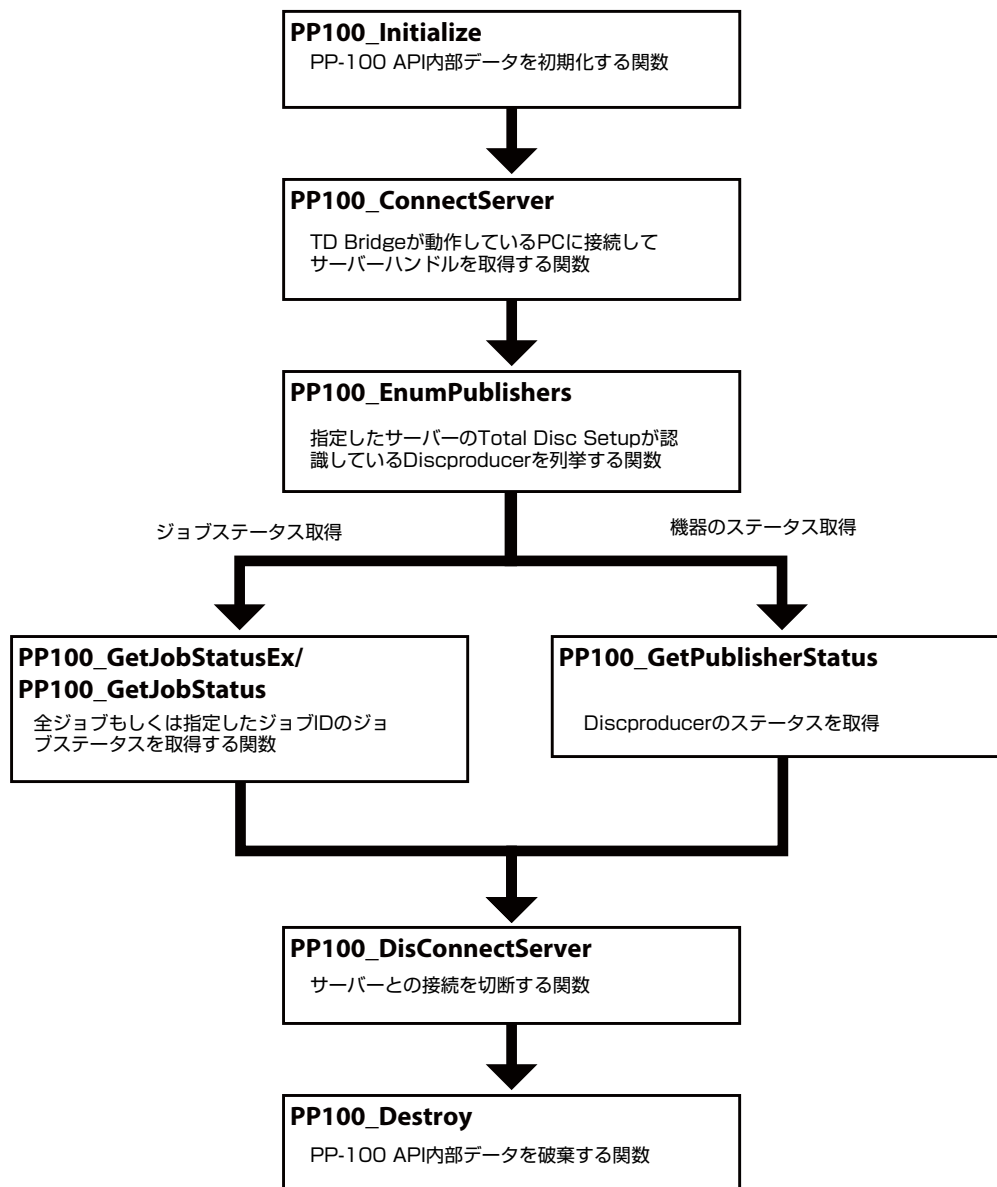
```
$ cd ~/pp100api_sample/build  
$ PP100APISampleStep1/PP100APISampleStep1  
$ PP100APISampleStep2/PP100APISampleStep2  
$ PP100APISampleStep3/PP100APISampleStep3  
$ PP100APISampleStep4/PP100APISampleStep4  
$ PP100APISampleStep5/PP100APISampleStep5  
$ PP100APISampleStep5/PP100APISampleStep6  
$ PP100APISampleStep5/PP100APISampleStep7
```

連携アプリケーション開発ガイド

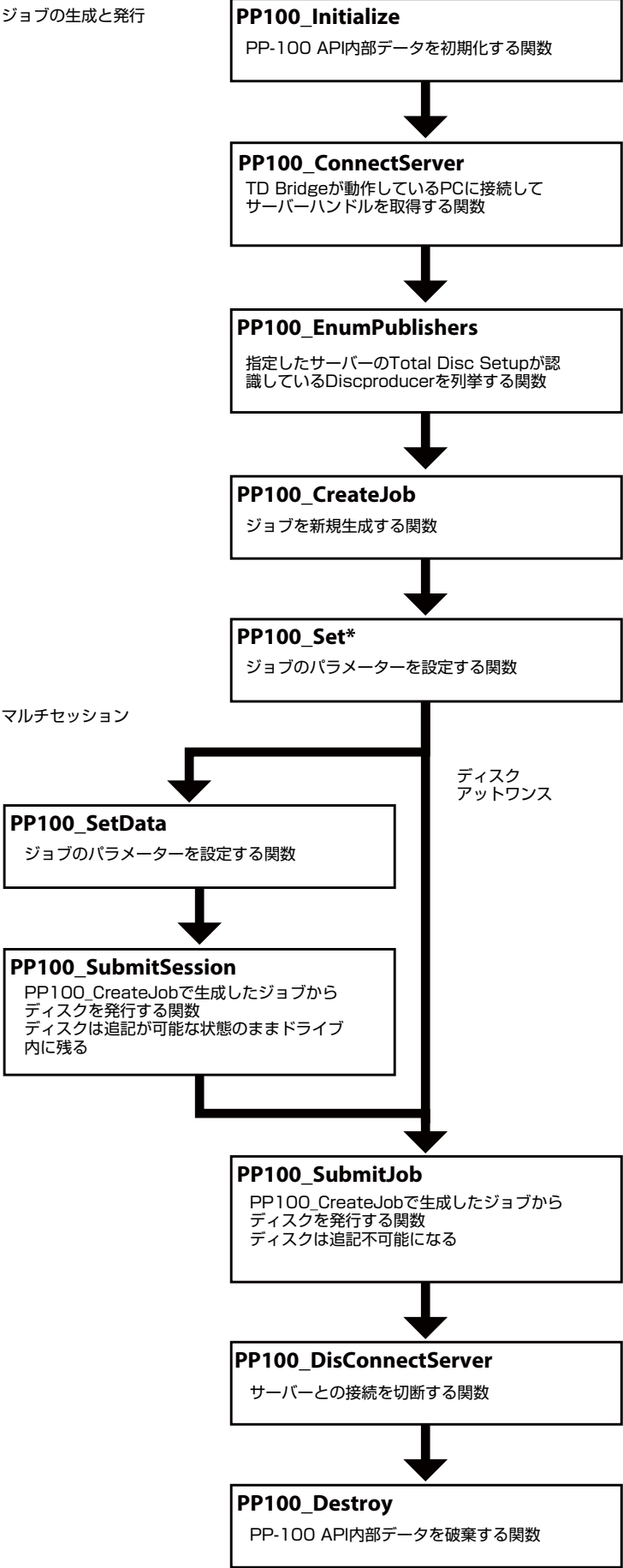
本章では、連携アプリケーションを作成していただくのに必要な事柄を説明します。

プログラミングフロー

APIを使った連携アプリケーションの基本的なプログラミングフロー図は以下のとおりです。



ジョブの生成と発行



マルチセッション

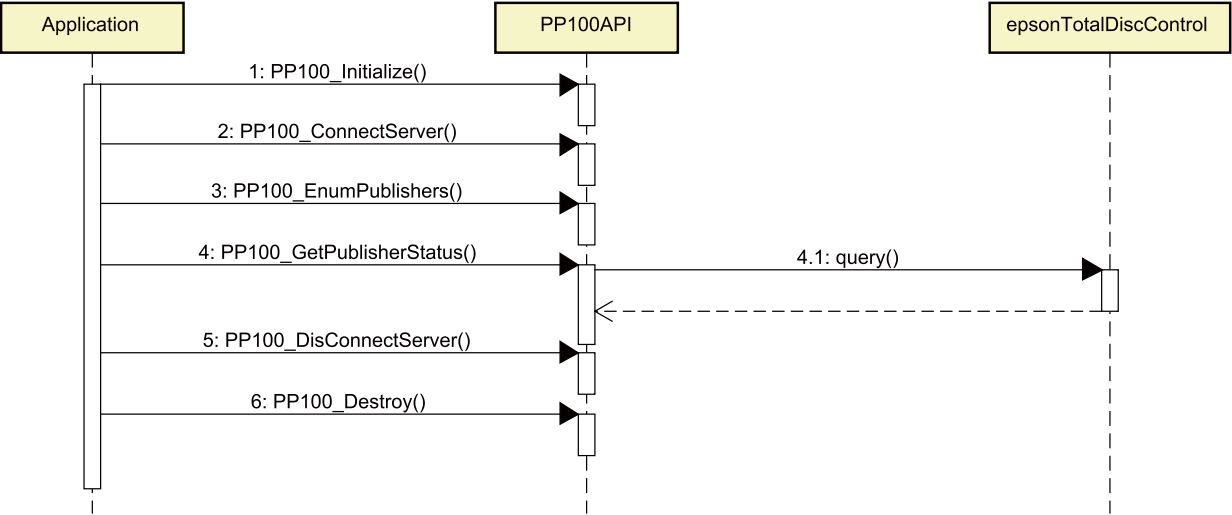
ディスク
アットワンス

以下は各APIと処理対象ジョブとの関係です。

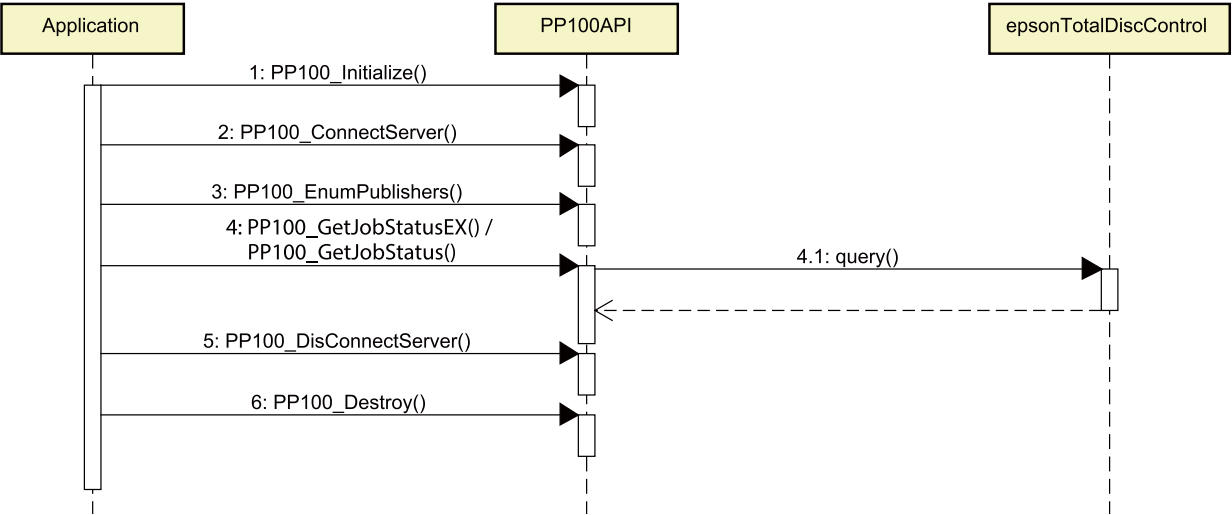
関数種別	ジョブの 発行前	PP100_ SubmitS ession による ジョブの 発行後	PP100_ SubmitJ ob によ るジョブ の発行後	説明
PP100_GetJobStatus	-	✓	✓	全ジョブもしくは指定したジョブIDのジョブステータスを取得する関数
PP100_GetCreatedJobList	✓	✓	✓	PP100_CreateJobで生成したジョブのジョブIDを列挙する関数
PP100_CopyJob	✓	✓	✓	PP100_CreateJobで生成したジョブ内容をコピーし、別のジョブIDを割り当てる関数
PP100_DeleteJob	✓	✓	✓	PP100_CreateJobで生成したジョブを削除する関数
PP100_SubmitSession	✓	✓	-	PP100_CreateJobで生成したジョブからディスクを発行する関数 ディスクは追記が可能な状態のままドライブ内に残る
PP100_SubmitJob	✓	-	-	PP100_CreateJobで生成したジョブからディスクを発行する関数 ディスクは追記不可能になる
PP100_CancelJob	-	✓	✓	ジョブをキャンセルする関数
PP100_SetData	✓	✓	-	生成したジョブの次のセッションのパラメーターを設定する関数
PP100_AddData	✓	✓	-	生成したジョブの次のセッションのパラメーターを追加する関数
PP100_DeleteData	✓	✓	-	生成したジョブの次のセッションのパラメーターを削除する関数
PP100_GetData	✓	✓	✓	生成したジョブのパラメーターを削除する関数
PP100_Set* (Data以外)	✓	-	-	生成したジョブのパラメーターを設定する関数
PP100_Add* (Data以外)	✓	-	-	生成したジョブのパラメーターを追加する関数
PP100_Delete* (Data以外)	✓	-	-	生成したジョブのパラメーターを削除する関数
PP100_Get* (Data以外)	✓	✓		生成したジョブのパラメーターを取得する関数

基本シーケンス図

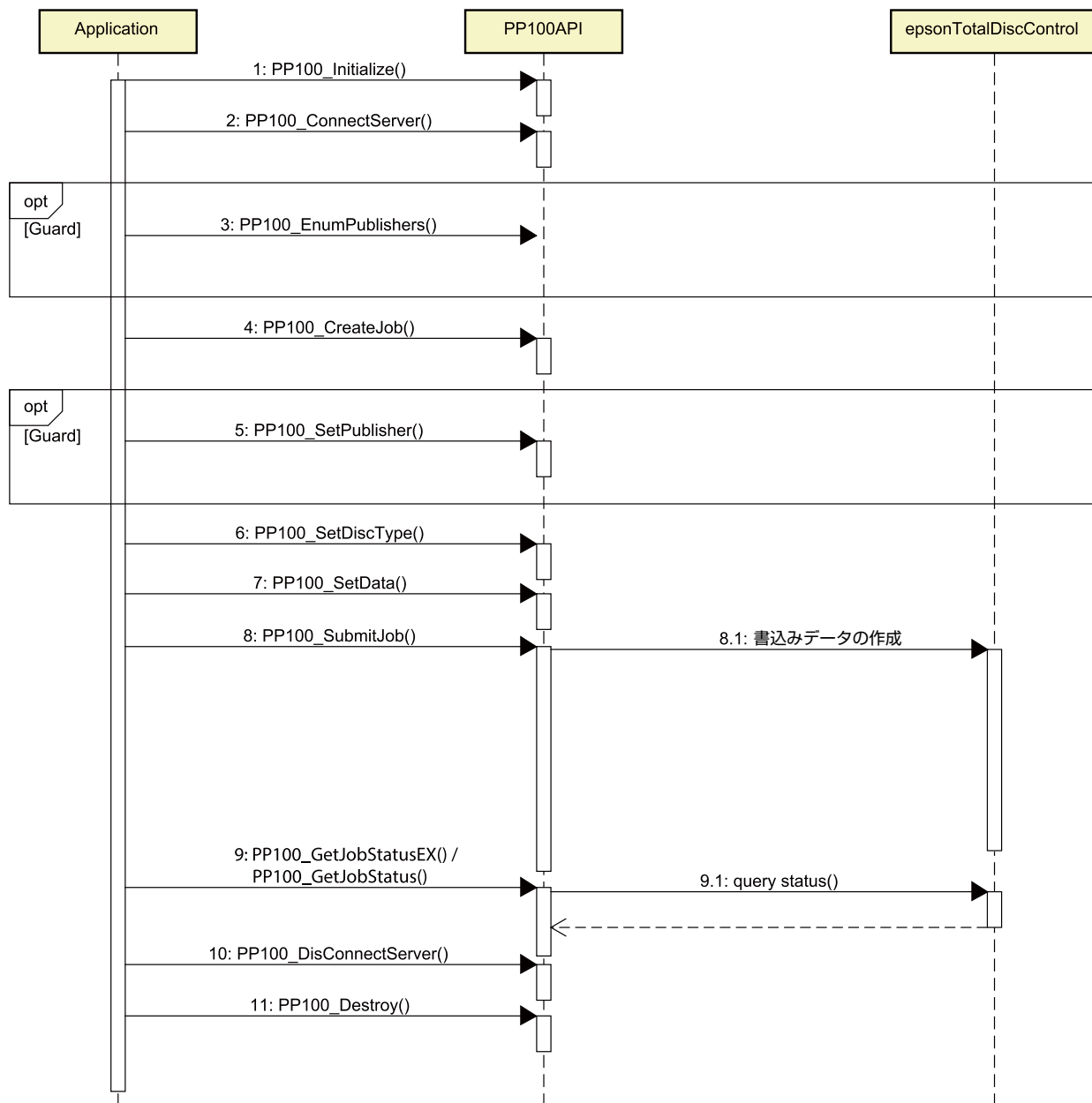
Discproducer のステータスを取得



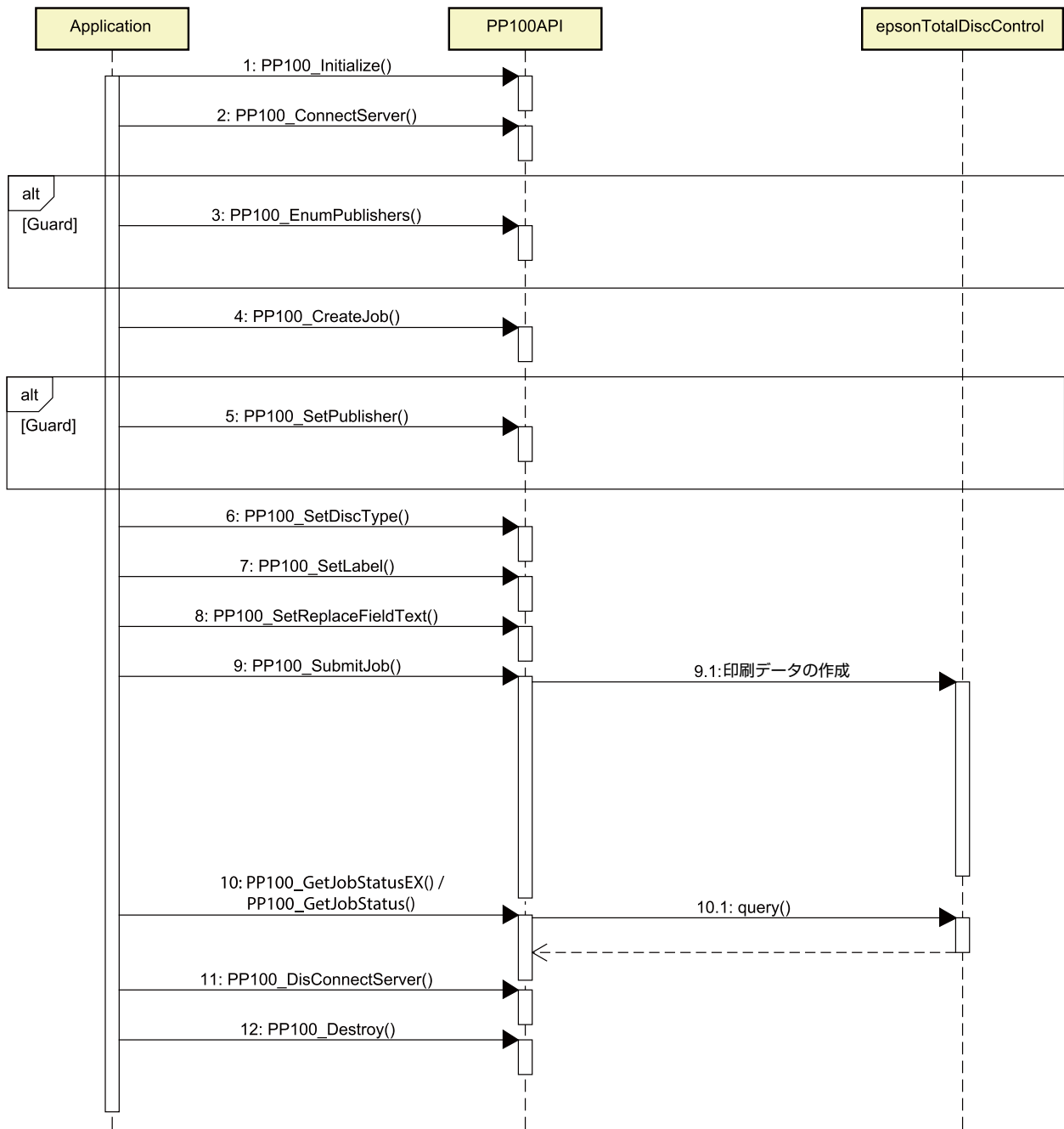
JOB ステータスを取得



ディスクの発行

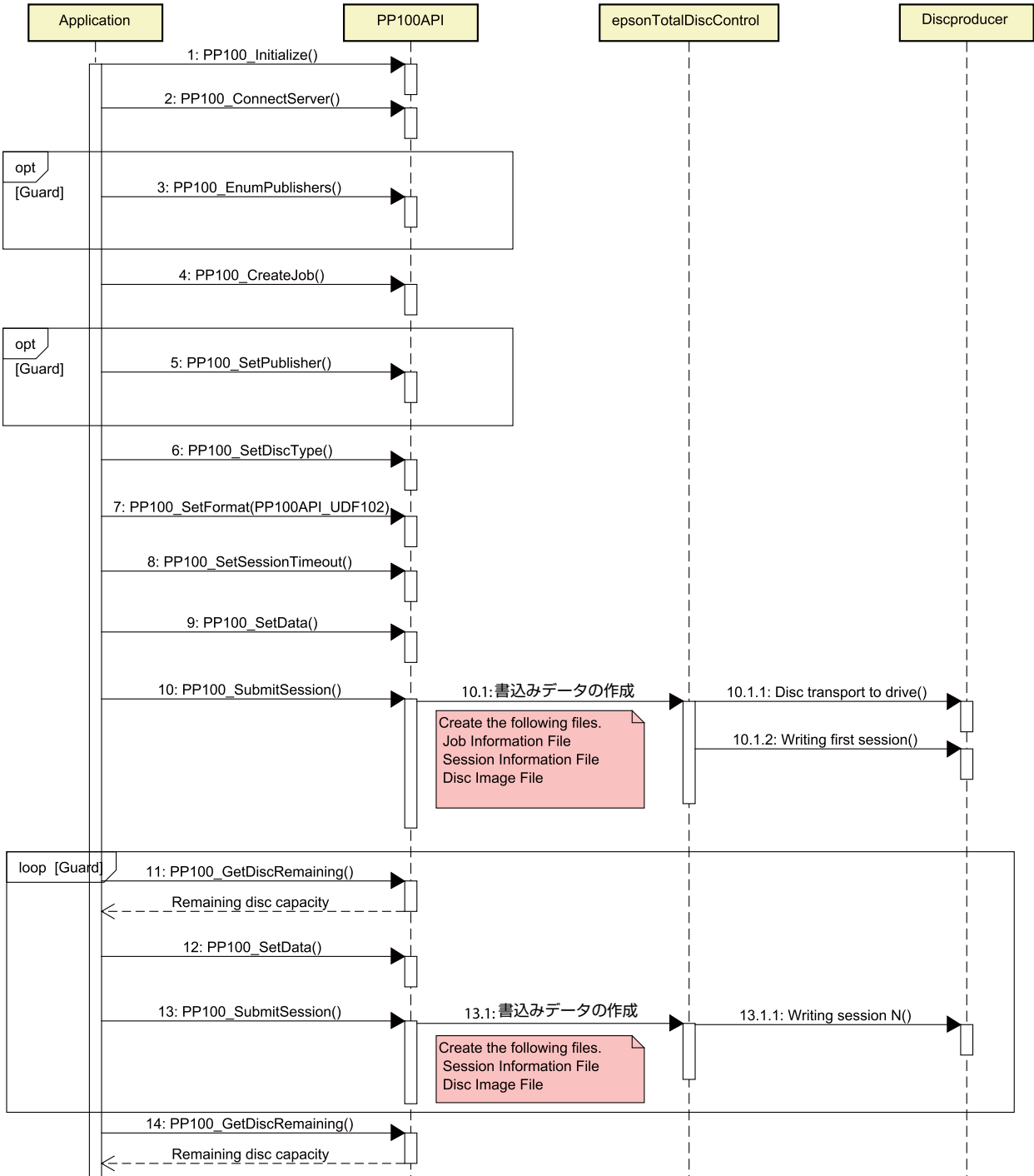


差し込み印刷

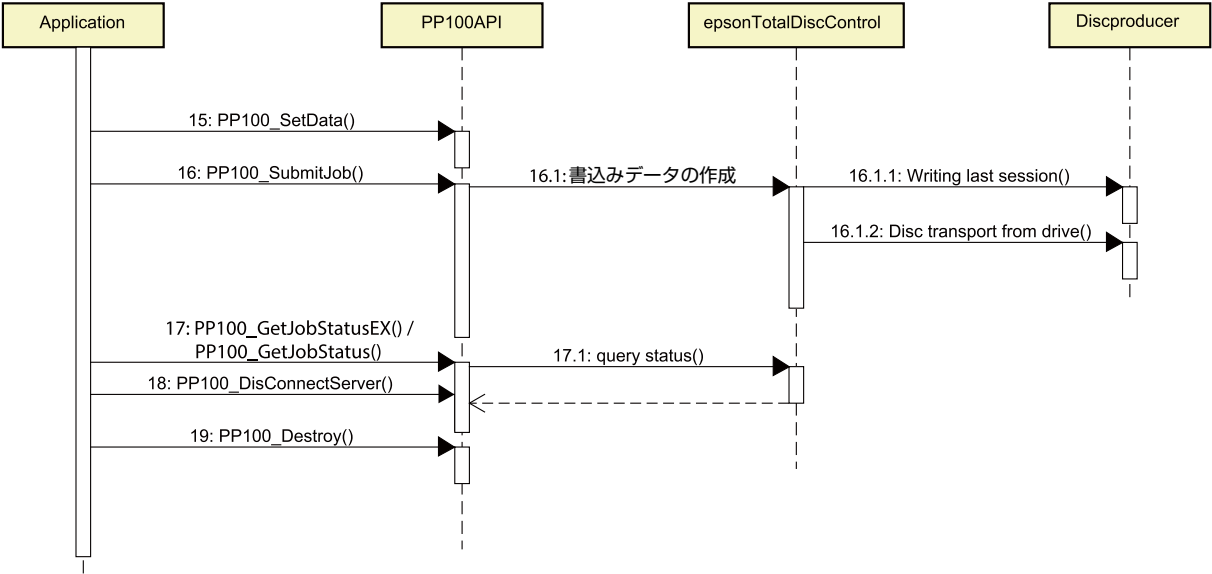


マルチセッション処理

(1/2)



(2/2)



API 関数

ここでは、各APIの仕様を説明します。

API 一覧

	API	説明
APIの初期化	PP100_Initialize	PP-100 API 内部データを初期化する関数
APIの終了	PP100_Destroy	PP-100 API 内部データを破棄する関数.
互換性のための機能	PP100_ConnectServer	TD Bridgeが動作しているPCに接続してサーバーハンドルを取得する関数.
	PP100_DisConnectServer	サーバーとの接続を切断する関数
接続機器の一覧取得	PP100_EnumPublishers	指定したサーバーのTotal Disc Setupが認識しているDiscproducerを列挙する関数
機器の状態取得	PP100_GetPublisherStatus	指定したDiscproducerのステータスを取得する関数
JOB状態の取得	PP100_GetJobStatus	全ジョブもしくは指定したジョブIDのジョブステータスを取得する関数。完了ジョブが100個以上ある場合、最近50個のステータスを取得する。ジョブの指定にジョブIDを使用。
	PP100_GetJobStatusEX	全ジョブもしくは指定したジョブIDのジョブステータスを取得する関数。完了ジョブが100個以上ある場合、最近50個のステータスを取得する。ジョブの指定にジョブIDもしくは機器名を使用。
JOBの作成	PP100_CreateJob	ジョブを新規生成する関数
JOB一覧の取得	PP100_GetCreatedJobList	PP100_CreateJobで生成したジョブのジョブIDを列挙する関数
JOB情報のコピー	PP100_CopyJob	PP100_CreateJobで生成したジョブ内容をコピーし、別のジョブIDを割り当てる関数
JOB情報の削除	PP100_DeleteJob	PP100_CreateJobで生成したジョブを削除する関数
JOBの発行	PP100_SubmitJob	PP100_CreateJobで生成したジョブからディスクを発行する関数
JOBのキャンセル	PP100_CancelJob	ジョブをキャンセルする関数
マルチセッション	PP100_SubmitSession	ジョブを複数回に分けて書き込みを行うマルチセッションにする関数
	PP100_GetMultiSession	ジョブがマルチセッションディスクの書き込み指定がされているか判定する関数
	PP100_SetSessionTimeout	前の書き込み終了後に次のPP100_SubmitSessionを実行するまでのタイムアウト値を指定する関数
	PP100_GetSessionTimeout	前の書き込み終了後に次のPP100_SubmitSessionを実行するまでのタイムアウト値を取得する関数
	PP100_GetSessionCount	指定されたマルチセッション書き込みジョブのディスク残量を取得する関数
	PP100_GetDiscRemaining	指定されたマルチセッション書き込みジョブのディスク残量を取得する関数
JOBの設定	PP100_SetPublisher	ジョブのPUBLISHERパラメーターを設定する関数
	PP100_GetPublisher	ジョブのPUBLISHERパラメーターを取得する関数
	PP100_SetCopies	ジョブのCOPIESパラメーターを設定する関数
	PP100_GetCopies	ジョブのCOPIESパラメーターを取得する関数

API	説明
JOBの設定	
PP100_SetOutStacker	ジョブのOUT_STACKERパラメーターを設定する関数
PP100_GetOutStacker	ジョブのOUT_STACKERパラメーターを取得する関数
PP100_SetInStacker	ジョブのIN_STACKERパラメーターを設定する関数
PP100_GetInStacker	ジョブのIN_STACKERパラメーターを取得する関数
PP100_SetDiscType	ジョブのDISC_TYPEパラメーターを設定する関数
PP100_GetDiscType	ジョブのDISC_TYPEパラメーターを取得する関数
PP100_SetWritingSpeed	ジョブのWRITING_SPEEDパラメーターを設定する関数
PP100_GetWritingSpeed	ジョブのWRITING_SPEEDパラメーターを取得する関数
PP100_SetCompare	ジョブのCOMPAREパラメーターを設定する関数
PP100_GetCompare	ジョブのCOMPAREパラメーターを取得する関数
PP100_SetFormat	ジョブのFORMATパラメーターを設定する関数
PP100_GetFormat	ジョブのFORMATパラメーターを取得する関数
PP100_SetData	ジョブのDATAパラメーターを初期化後に、再度DATAパラメーターを設定する関数
PP100_AddData	ジョブの既存のDATAパラメーターに追加する関数
PP100_DeleteData	ジョブのDATAパラメーターを削除する関数
PP100_GetData	ジョブのDATAパラメーターを取得する関数
PP100_SetVolumeLabel	ジョブのVOLUME_LABELパラメーターを設定する関数
PP100_GetVolumeLabel	ジョブのVOLUME_LABELパラメーターを取得する関数
PP100_SetLabel	ジョブのLABELパラメーターを設定する関数
PP100_GetLabel	ジョブのLABELパラメーターを取得する関数
PP100_SetLabelType	ジョブのLABEL_TYPEパラメーターを設定する関数
PP100_GetLabelType	ジョブのLABEL_TYPEパラメーターを取得する関数
PP100_SetReplaceFieldText	ジョブのREPLACE_FIELDパラメーターを初期化後に、再度REPLACE_FIELDパラメーターを設定する関数
PP100_AddReplaceFieldText	ジョブの既存のREPLACE_FIELDパラメーターに追加する関数
PP100_DeleteReplaceFieldText	ジョブのREPLACE_FIELDパラメーターを削除する関数
PP100_GetReplaceFieldText	ジョブのREPLACE_FIELDパラメーターを取得する関数
PP100_SetLabelArea	ジョブのLABEL_AREAパラメーターを設定する関数
PP100_GetLabelArea	ジョブのLABEL_AREAパラメーターを取得する関数
PP100_SetPrintMode	ジョブのPRINT_MODEパラメーターを設定する関数
PP100_GetPrintMode	ジョブのPRINT_MODEパラメーターを取得する関数

PP100_Initialize

PP-100 API 内部データを初期化します。

構文

```
long PP100_Initialize (void)
```

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_SUPPORTED	サポートされていない環境で動作している
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_Destroy

PP-100 API 内部データを破棄します。

構文

long PP100_Destroy (void)

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_ConnectServer

TD Bridgeが動作しているPCに接続してサーバーハンドルを取得します。

構文

```
long PP100_ConnectServer (char pHost[64], char pOrderFolder[256],
unsigned long * pHandle)
```

引数

引数		説明
IN	pHost[64]	固定：NULL
IN	pOrderFolder[256]	固定：NULL
OUT	pHandle	サーバーハンドル格納バッファ

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pHost[64]がNULLでない、かつpOrderFolder[256]がNULL b. pHandleがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	pHost[64]が見つからない
PP100API_ORDER_FOLDER_NOT_FOUND	pOrderFolder[256]が見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	ディレクトリへのアクセスが拒否された
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_DisConnectServer

サーバーとの接続を切断します。

構文

long PP100_DisConnectServer (unsigned long ulHandle)

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	ulHandleがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_EnumPublishers

指定したサーバーのTotal Disc Setupが認識しているDiscproducerを列挙します。

構文

```
long PP100_EnumPublishers (unsigned long ulHandle, PP100_ENUM_PUBLISHER_INFO pEnumPublisherInfo[], unsigned long * pEnumPubilsherInfoNum)
```

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pEnumPublisherInfo[]	列挙結果格納バッファ配列へのポインタ 本配列のメモリ領域は呼び出し元が確保する必要がある。 114ページ「PP100_ENUM_PUBLISHER_INFO」を参照してください。
IN/OUT	pEnumPubilsherInfoNum	pEnumPublisherInfo[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pEnumPublisherInfo[]がNULL c. pEnumPubilsherInfoNumがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	ディレクトリーへのアクセスが拒否された
PP100API_MORE_ITEMS	pEnumPubilsherInfoNumで指定した配列数が不足している。このとき、pEnumPubilsherInfoNumに必要な配列数を代入する。
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetPublisherStatus

指定したDiscproducerのステータスを取得します。

構文

```
long PP100_GetPublisherStatus (unsigned long ulHandle, char pPublisher-
Name[65], PP100_PUBLISHER_STATUS pPublisherStatus)
```

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pPublisherName[65]	Total Disc Setupに登録時の機器名
OUT	pPublisherStatus	ステータスの格納先バッファ 115ページ「PP100_PUBLISHER_STATUS」を参照してください。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pPublisherName[65]がNULL c. pPublisherStatusがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_PUBLISHER_NOT_FOUND	pPublisherName[65]で指定したDiscproducerが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	ディレクトリーへのアクセスが拒否された
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetJobStatus

全ジョブ、もしくは指定したジョブのジョブステータスを取得します。ジョブの指定には、ジョブIDを使用できます。完了ジョブが50個以上ある場合、最近50個のステータスを取得します。

構文

```
long PP100_GetJobStatus (unsigned long ulHandle, char pJobID[41],
PP100_JOB_STATUS pJobStatus[], unsigned long * pJobStatusNum)
```

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pJobID[41]	ジョブID NULL指定時は全ジョブステータスを取得する
OUT	pJobStatus[]	ジョブステータス格納先バッファ 本配列のメモリ領域は呼び出し元が確保する必要がある 116ページ「PP100_JOB_STATUS」を参照してください。
IN/OUT	pJobStatusNum	pJobStatus[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pJobID[41]がNULL c. pJobStatus[]がNULL d. pJobStatusNumがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	ディレクトリへのアクセスが拒否された
PP100API_MORE_ITEMS	pJobStatusNumで指定した配列数が不足している。このとき、pJobStatusNumに必要な配列数を代入する
PP100API_INFORMATION_CODE_NOT_DEFINED	pJobID[41]で指定したジョブは認識されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetJobStatusEX

全ジョブ、もしくは指定したジョブのジョブステータスを取得します。ジョブの指定には、ジョブIDもしくは機器名を使用できます。完了ジョブが50個以上ある場合、最近50個のステータスを取得します。

構文

```
long PP100_GetJobStatusEX (unsigned long ulHandle, char pJobID[41],
char pPublisherName[65], PP100_JOB_STATUS_EX pJobStatus[], unsigned
long * pJobStatusNum)
```

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pJobID[41]	ジョブID NULL指定時は全ジョブステータスを取得する
IN	pPublisherName[65]	DiscSetupに登録されているデバイス名。指定されていない場合、すべてのデバイスがターゲットになる。
OUT	pJobStatus[]	ジョブステータス格納先バッファ 本配列のメモリ領域は呼び出し元が確保する必要がある 117ページ「PP100_JOB_STATUS_EX」を参照してください。
IN/OUT	pJobStatusNum	pJobStatus[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pJobID[41]がNULL c. pJobStatus[]がNULL d. pJobStatusNumがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_PUBLISHER_NOT_FOUND	pPublisherName[65]で指定したDiscproducerが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	ディレクトリへのアクセスが拒否された
PP100API_MORE_ITEMS	pJobStatusNumで指定した配列数が不足している。このとき、pJobStatusNumに必要な配列数を代入する
PP100API_INFORMATION_CODE_NOT_DEFINED	pJobID[41]で指定したジョブは認識されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_CreateJob

ジョブを新規生成します。

構文

```
long PP100_CreateJob (char pJobID[41])
```

引数

引数		説明
OUT	pJobID[41]	ジョブID

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetCreatedJobList

PP100_CreateJobで生成したジョブのジョブIDを列挙します。

構文

```
long PP100_GetCreatedJobList (char ** ppJobID, unsigned long * pJobID-  
Num)
```

引数

引数		説明
OUT	ppJobID	ジョブID格納先バッファへの配列へのポインター
IN/OUT	pJobIDNum	ジョブ数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobIDがNULL b. pJobIDNumがNULL
PP100API_MORE_ITEMS	pJobIDNumで指定した配列数が不足している。このとき、pJobIDNumに必要な配列数を代入する
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_CopyJob

PP100_CreateJobで生成したジョブ内容をコピーし、別のジョブIDを割り当てます。

構文

```
long PP100_CopyJob (char pSourceJobID[41], char pDestinationJobID[41])
```

引数

引数		説明
IN	pSourceJobID[41]	コピー元ジョブID
OUT	pDestinationJobID[41]	コピー先ジョブID

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pSourceJobID[41]がNULL b. pDestinationJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pSourceJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_DeleteJob

PP100_CreateJobで生成したジョブを削除します。

構文
long PP100_DeleteJob (char pJobID[41])

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pSourceJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SubmitJob

PP100_CreateJobで生成したジョブを発行します。

構文

long PP100_SubmitJob (unsigned long ulHandle, char pJobID[41], bool bAutoDelete)

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	bAutoDelete	true:成功時、本関数はpJobID[41]で指定したジョブを削除する。 false:本関数はジョブ削除しない。そのため、使用しなくなった時点でPP100_DeleteJobでジョブを削除する必要がある。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pJobID[41]がNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	フォルダーへのアクセスが拒否された
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pSourceJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SUBMITTED	同じジョブが同じサーバーに対して発行済み
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_CancelJob

ジョブをキャンセルします。

構文

long PP100_CancelJob (unsigned long ulHandle, char pJobID[41])

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pJobID[41]	ジョブID

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pJobID[41]がNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	フォルダーへのアクセスが拒否された
PP100API_JOB_IS_SUBMITTED_BY_TOTAL_DISC_MAKER	pJobID[41]で指定したジョブはTotal Disc Makerから直接発行されるため、キャンセルできない
PP100API_INFORMATION_CODE_NOT_DEFINED	pJobID[41]で指定したジョブは認識されていない
PP100API_JOB_IS_ALREADY_FINISHED	pJobID[41]で指定したジョブは完了済
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SubmitSession

PP100_CreateJobで生成したジョブを発行するが、ディスクは追記が可能な状態のままドライブ内に残ります。
続けて、本APIを実行することで、複数回に分けて書き込みを行うことができます。
最後にPP100_SubmitJobを実行することで、ディスクは追記禁止になりドライブから排出されます。
本APIで書き込んだディスクは、マルチセッションディスクになります。
詳しくは、134ページ「マルチセッション書き込み機能」を参照してください。

構文

```
long PP100_SubmitSession(unsigned long ulHandle, char pJobID[41],
unsigned long * pSessionCount)
```

引数

引数		説明
IN	ulHandle	PP100_ConnectServerで取得したサーバーハンドル
IN	pJobID[41]	PP100_CreateJobで取得したジョブを識別するためのID
OUT	pSessionCount	ディスクに書き込んだセッションの数を返す

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. ulHandleがNULL b. pJobIDがNULL
PP100API_HOST_NOT_FOUND	ulHandleで指定したホストが見つからない
PP100API_ACCESS_DENIED	ディレクトリーへのアクセスが拒否された
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SUBMITTED	同じジョブが同じサーバーに対して発行済み
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetMultiSession

ジョブがマルチセッションディスクの書き込み指定がされているか判定します。

構文

```
long PP100_GetMultiSession (char pJobID[41], bool * pMultiSession)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	PP100_CreateJobで取得したジョブを識別するためのID
OUT	pMultiSession	true: PP100_SubmitSessionで発行されたジョブである false: PP100_SubmitSessionで発行されたジョブでない

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobIDがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetSessionTimeout

マルチセッション書き込み時の、前の書き込み終了後に次のPP100_SubmitSessionを実行するまでのタイムアウト値を指定します。

指定したタイムアウト値が経過する前にPP100_SubmitSessionが実行されない場合、該当のジョブはキャンセルされ、レーベル印刷が実施されず、エラースタッカーに排出されます。

PP100API_NOT_TIMEOUTを指定するとタイムアウト実施されません。本関数を使用しない場合、および、ulSessionTimeoutに0を指定した場合、1,800秒が指定されます。

構文

```
long PP100_SetSessionTimeout (char pJobID[41], unsigned long ulSessionTimeout)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	PP100_CreateJobで取得したジョブを識別するためのID
OUT	ulSessionTimeout	タイムアウト値(単位：秒) この引数が省略された場合、"1800"(30分)が指定されます。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobIDがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetSessionTimeout

マルチセッションディスク書き込み時の、前の書き込み終了後に次のPP100_SubmitSessionを実行するまでのタイムアウト値を取得します。

構文

```
long PP100_GetSessionTimeout (char pJobID[41], unsigned long * pSessionTimeout)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pSessionTimeout	タイムアウト値(単位：秒)

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pSessionTimeoutがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetSessionCount

指定されたマルチセッション書き込みジョブで書き込んだセッションの数(PP100_SubmitSessionを実行した数)を取得します。

構文

```
long PP100_GetSessionCount (char pJobID[41], unsigned long * pSession-  
Count)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pSessionCount	セッションの数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pSessionCountがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetDiscRemaining

指定されたマルチセッション書き込みジョブのディスク残量を取得します。

構文

```
long PP100_GetDiscRemaining (char pJobID[41], unsigned long long *  
pDiscRemaining)
```

引数


引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pDiscRemaining	ディスク残量(単位：バイト)

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pDiscRemainingがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetPublisher

ジョブのPUBLISHERパラメーターを設定します。設定は任意です。

 参考	Total Disc Setup で登録された出力機器が 1 台のみの場合、本 API は省略できます。
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

構文

```
long PP100_SetPublisher (char pJobID[41], char pPublisher[65])
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pPublisher[65]	ディスクを発行する機器の機器名を指定します。 指定されていない場合、TD Bridge環境設定の既定出力機器になります。 環境設定の既定出力機器も設定されていない場合、Total Disc Setupで登録された出力機器が1台のみであればその機器が出力機器になります。(複数台の場合はエラーになります) 最大文字数：64 使用可能な文字：Total Disc Setupで登録した機器の機器名

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetPublisher

ジョブのPUBLISHERパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpPublisher[65]に取得した値が格納される。

構文

```
long PP100_GetPublisher (char pJobID[41], char pPublisher[65])
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pPublisher[65]	機器名

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pPublisher[65]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetCopies

ジョブのCOPIESパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

```
long PP100_SetCopies (char pJobID[41], unsigned long ulNumber)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulNumber	発行するディスクの枚数を指定します。 1～1000の範囲で指定可能です。指定されていない場合、1になります。 最大文字数：49 使用可能な文字：半角数値

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetCopies

ジョブのCOPIESパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpNumberに取得した値が格納されます。

構文

long PP100_GetCopies (char pJobID[41], unsigned long * pNumber)

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pPublisher[65]	発行枚数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pNumberがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetOutStacker

ジョブのOUT_STACKERパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

long PP100_SetOutStacker (char pJobID[41], unsigned long ulOutStacker)

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulOutStacker	出力するスタッカーを指定します。 【出力先機器が標準モードの場合】 <ul style="list-style-type: none">• 【PP-100III / PP-100NEII】 スタッカー 2を出力スタッカーにする場合：PP100API_STACKER2 スタッカー 3を出力スタッカーにする場合：PP100API_STACKER3 スタッカー 4を出力スタッカーにする場合：PP100API_STACKER4• 【PP-50II】 スタッカー 2を出力スタッカーにする場合：PP100API_STACKER2 スタッカー 3を出力スタッカーにする場合：PP100API_STACKER3 スタッカーを指定しない場合、TD Bridgeの環境設定の既定排出先となります。環境設定で既定排出先を設定していない状態で指定しないと、スタッカー 2が出力スタッカーになります。 【出力先機器が標準モードでない場合】 無効（指定しても無視されます）

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetOutStacker

ジョブのOUT_STACKERパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみ pOutStackerに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetOutStacker (char pJobID[41], unsigned long * pOut-
Stacker)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pOutStacker	排出先スタッカー

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pOutStackerがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetInStacker

ジョブのIN_STACKERパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

```
long PP100_SetInStacker (char pJobID[41], unsigned long ullnStacker)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ullnStacker	供給元にしたいスタッカーを指定します。 【出力先機器が外部排出モードの場合】 スタッカー 1を供給元にしたい場合：PP100API_STACKER1 スタッカー 2を供給元にしたい場合：PP100API_STACKER2 スタッカー 1とスタッカー 2を供給元にしたい場合： PP100API_STACKER1_OR_STACKER2 (指定しない場合、PP100API_STACKER1_OR_STACKER2が設定されたとみなされ、SetDiscType(88ページ)で指定されたメディアがセットされたスタッカーが選択されます。) 【出力先機器が外部排出モードでない場合】 無効（指定しても無視される）

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetInStacker

ジョブのIN_STACKERパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpInStackerに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetInStacker (char pJobID[41], unsigned long * pInStacker)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pInStacker	供給元スタッカー

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pInStackerがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetDiscType

ジョブのDISC_TYPEパラメーターを設定します。設定は必須です。

構文

long PP100_SetDiscType (char pJobID[41], unsigned long ulDiscType)

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulDiscType	発行するディスクの種類を指定します。 CDを発行したい場合：PP100API_CD DVD 1層を発行したい場合：PP100API_DVD DVD 2層を発行したい場合：PP100API_DVD_DL BD 1層を発行したい場合：PP100API_BD BD 2層を発行したい場合：PP100API_BD_DL BD-R XL 100を発行したい場合：PP100API_BD_XL100 BD-R XL 128を発行したい場合：PP100API_BD_XL128

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetDiscType

ジョブのDISC_TYPEパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpDiscTypeに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetDiscType (char pJobID[41], unsigned long * pDiscType)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pDiscType	ディスク種別

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pDiscTypeがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetWritingSpeed

ジョブのWRITING_SPEEDパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文
long PP100_SetWritingSpeed (char pJobID[41], float fWritingSpeed)

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	fWritingSpeed	ディスクヘータを書き込む際のライティング速度をディスク種類に応じて指定します。 何倍速で書き込みたいか、速度[N]を指定します。 【ディスク種類がCD-Rの場合】 40、32、24、16、10、4 【ディスク種類がDVD-Rの場合】 12、8、6、4、2、1 【ディスク種類がDVD+Rの場合】 12、8、6、4、2.4 【ディスク種類がDVD-R DLの場合】 8、6、4、2 【ディスク種類がDVD+R DLの場合】 8、6、4、2.4 【ディスク種類がBDの場合】 8、6、4、2 【ディスク種類がBD DLの場合】 8、6、4、2 【ディスク種類がBD-R XL 100/ BD-R XL 128の場合】 6、4、2 【共通】 ディスク種類と一致しない速度を指定した場合、指定した速度の次に遅い速度になります。指定されていない場合、最高速で書き込まれます。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. fWritingSpeedが0未満
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetWritingSpeed

ジョブのWRITING_SPEEDパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみ pWritingSpeedに取得した値が格納されます。

構文
long PP100_GetWritingSpeed (char pJobID[41], float * pWritingSpeed)

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pWritingSpeed	書き込み速度 正の値 小数第2位以下切り捨て

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pWritingSpeedがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetCompare

ジョブのCOMPAREパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

```
long PP100_SetCompare (char pJobID[41], unsigned long ulCompare)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulCompare	ディスク書き込み後に、コンペアするかどうかを指定します。 指定しない場合、コンペアされません。 コンペアする場合：PP100API_COMPARE コンペアしない場合：PP100API_DONT_COMPARE

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetCompare

ジョブのCOMPAREパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpCompareに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetCompare (char pJobID[41], unsigned long * pCompare)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pWritingSpeed	コンペア設定

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pCompareがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetFormat

ジョブのFORMATパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文
long PP100_SetFormat (char pJobID[41], unsigned long ulWritingFormat)

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulWritingFormat	データディスクを作成する場合、記録フォーマットを指定します。 【ディスク種類がCDの場合】 ISO9660レベル2で作成する場合：PP100API_ISO9660L2 UDF1.02で作成する場合：PP100API_UDF102 指定しない場合、ISO9660レベル2で作成されます。 【ディスク種類がDVDの場合】 UDF1.02で作成する場合：PP100API_UDF102 指定しない場合、UDF1.02で作成されます。 【ディスク種類がBDの場合】 UDF1.02で作成する場合、PP100API_UDF102 UDF2.60で作成する場合、PP100API_UDF260 指定しない場合、UDF2.60で作成されます。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetFormat

ジョブのFORMATパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpWritingFormatに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetFormat (char pJobID[41], unsigned long * pWritingFormat)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pWritingFormat	書き込みフォーマット

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pWritingFormatがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetData

ジョブのDATAパラメーターを初期化後に、再度DATAパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

```
long PP100_SetData (char pJobID[41], PP100_WRITE_DATA pWriteData[],
unsigned long ulWriteDataNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pWriteData[]	データディスクの書き込みファイルおよびフォルダーを指定します。 117ページ「PP100_WRITE_DATA」 を参照してください。 データディスクを作成する場合、書き込みデータの書き込み元パスと書き込み先パスを指定します。 書き込み元に指定するパスは、TD Bridgeがインストールされているコンピューターから見たパスを記述します。 (書き込み先に指定するパス名の詳細は、 14ページ「記録フォーマットと制限事項」 を参照してください)
IN	ulWriteDataNum	pWriteData[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pWriteData[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_AddData

ジョブの既存のDATAパラメーターに追加します。

構文

```
long PP100_AddData (char pJobID[41], PP100_WRITE_DATA pWriteData[],
unsigned long ulWriteDataNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pWriteData[]	書き込みデータ 117ページ「PP100_WRITE_DATA」を参照してください。
IN	ulWriteDataNum	pWriteData[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pWriteData[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_DeleteData

ジョブのDATAパラメーターを削除する関数。指定されたデータの存在を確認し、存在する場合は削除を行い、存在しない場合は成功を返します。

構文

```
long PP100_DeleteData (char pJobID[41], PP100_WRITE_DATA pWriteData[], unsigned long ulWriteDataNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pWriteData[]	書き込みデータ 117ページ「PP100_WRITE_DATA」 を参照してください。
IN	ulWriteDataNum	pWriteData[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pWriteData[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetData

ジョブのDATA/パラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpWriteData[]に取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetData (char pJobID[41], PP100_WRITE_DATA pWriteData[],
unsigned long * pWriteDataNum)
```

引数


引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pWriteData[]	書き込みデータ格納先バッファー 117ページ「PP100_WRITE_DATA」 を参照してください。
in/out	pWriteDataNum	pWriteData[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pWriteData[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_MORE_ITEMS	pWriteDataNumで指定した配列数が不足している。このとき、pWriteDataNumに必要な配列数を代入する。
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetVolumeLabel

ジョブのVOLUME_LABELパラメーターを設定します。設定は任意です。


 参考	データディスクにボリュームラベルを設定する場合に設定します。
---------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------

構文

```
long PP100_SetVolumeLabel (char pJobID[41], char pVolumeLabel[63])
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pVolumeLabel[63]	データディスクのボリュームラベルを指定します。

 参考	記録フォーマットによって使用できる文字の制限があります。 ISO9660L2：文字数は 32 文字まで。半角英大文字，半角数字，"_" 以外の文字は使用できません。 Joliet：文字数は 16 文字まで。半角英大文字，半角数字，"_" 以外の文字は使用できません。 UDF：文字数は 62 文字まで。 UDF Bridge：文字数は 32 文字まで。半角英大文字，半角数字，"_" 以外の文字は使用できません。
-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetVolumeLabel

ジョブのVOLUME_LABELパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみ pVolumeLabel[63]に取得した値が格納されます。

構文

long PP100_GetVolumeLabel (char pJobID[41], char pVolumeLabel[63])

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pVolumeLabel[63]	ボリュームラベル

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pVolumeLabel[63]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetLabel

ジョブのLABELパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

```
long PP100_SetLabel (char pJobID[41], char pLabel[256])
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pLabel[256]	レーベル印刷を行う場合、レーベルファイルのパスを指定します。 TD Bridgeがインストールされているコンピューターから見たレーベルファイルのパスを記述します。 レーベルファイルに指定できるのは、Inkscapeで作成されたファイル(.SVG)、PNGファイル、JPEGファイルのいずれかです。 最大文字数：255文字 使用可能な文字：パスとして有効な文字列

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetLabel

ジョブのLABELパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpLabel[256]に取得した値が格納されます。

構文

long PP100_GetLabel (char pJobID[41], char pLabel[256])

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pLabel[256]	レーベルファイル

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pLabel[256]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetLabelType

ジョブのLABEL_TYPEパラメーターを設定します。設定は任意です。

構文

```
long PP100_SetLabelType (char pJobID[41], unsigned long ulLabelType)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulLabelType	レーベル種類を指定します。 【CD/DVDレーベルを指定したい場合】 PP100API_CD_DVD_LABEL 【高画質対応 CD/DVDレーベルを指定したい場合】 PP100API_CD_DVD_PREMIUM_LABEL 【光沢CD/DVDレーベルを指定したい場合】 PP100API_EPSON_SPECIFIED_CD_DVD_LABEL 【指定されていない場合】 環境設定のレーベル種類になります。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetLabelType

ジョブのLABEL_TYPEパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpLabelTypeに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetLabelType (char pJobID[41], unsigned long * pLabelType)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pLabelType	レーベル種類

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pLabelTypeがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetReplaceFieldText

ジョブのREPLACE_FIELDパラメーターを初期化後に、再度REPLACE_FIELDパラメーターを設定します。(テキスト)

ジョブにREPLACE_FIELDパラメーターを追加する場合は、[PP100_AddReplaceFieldText](#)を使用します。
([107ページ](#))

構文

```
long PP100_SetReplaceFieldText (char pJobID[41], PP100_REPLACE_
FIELD_TEXT pReplaceFieldText[], unsigned long ulReplaceFieldTextNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pReplaceFieldText[]	差し込み印刷データ(テキスト) 117ページ「PP100_REPLACE_FIELD_TEXT」 を参照してください。
IN	ulReplaceFieldTextNum	pReplaceFieldText[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pReplaceFieldText[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_AddReplaceFieldText

ジョブの既存のREPLACE_FIELDパラメーターに追加します。(テキスト)

構文

```
long PP100_AddReplaceFieldText (char pJobID[41], PP100_REPLACE_FIELD_TEXT pReplaceFieldText[], unsigned long ulReplaceFieldTextNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pReplaceFieldText[]	差し込み印刷データ(テキスト) 117ページ「PP100_REPLACE_FIELD_TEXT」 を参照してください。
IN	ulReplaceFieldTextNum	pReplaceFieldText[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pReplaceFieldText[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_DeleteReplaceFieldText

ジョブのREPLACE_FIELDパラメーターを削除します。指定されたデータの存在を確認し、存在する場合は削除を行い、存在しない場合は成功を返します。(テキスト)

構文

```
long PP100_DeleteReplaceFieldText (char pJobID[41], PP100_REPLACE_ -
FIELD_TEXT pReplaceFieldText[], unsigned long ulReplaceFieldTextNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	pReplaceFieldText[]	差し込み印刷データ(テキスト) 117ページ「PP100_REPLACE_FIELD_TEXT」 を参照してください。
IN	ulReplaceFieldTextNum	pReplaceFieldText[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pReplaceFieldText[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetReplaceFieldText

ジョブのREPLACE_FIELDパラメーターを取得します。(テキスト)戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみ pReplaceFieldText[]に取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetReplaceFieldText (char pJobID[41], PP100_REPLACE_
FIELD_TEXT pReplaceFieldText[], unsigned long * pReplaceFieldTextNum)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pReplaceFieldText[]	差し込み印刷データ(テキスト) 117ページ「PP100_REPLACE_FIELD_TEXT」 を参照してください。
IN/OUT	ulReplaceFieldTextNum	pReplaceFieldText[]の配列数

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pReplaceFieldText[]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_MORE_ITEMS	pReplaceFieldTextNumで指定した配列数が不足している。このとき、pReplaceFieldTextNumに必要な配列数を代入する。
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetLabelArea


ジョブのLABEL_AREAパラメーターを設定します。

構文

long PP100_SetLabelArea (char pJobID[41], unsigned long ulDiscDiamOut, unsigned long ulDiscDiamIn)

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulDiscDiamOut	外径(設定しない場合は0。設定する場合は1/10mm単位 700 ~ 1194)
IN	ulDiscDiamIn	内径(設定しない場合は0。設定する場合は1/10mm単位 180 ~ 500)

 参考	LABEL パラメーター (102 ページ) に JPEG ファイル、PNG ファイルのいずれかを指定していない場合は無効になります。(指定しても無視されます) 詳細は 15 ページ 「 レーベル印刷仕様 」を参照してください。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetLabelArea

ジョブのLABEL_AREAパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみ pDiscDiamOutとpDiscDiamInに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetLabelArea (char pJobID[41], unsigned long * pDiscDiamOut, unsigned long * pDiscDiamIn)
```

引数


引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pDiscDiamOut	外径
OUT	pDiscDiamIn	内径

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pDiscDiamOutがNULL c. pDiscDiamInがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_SetPrintMode

ジョブのPRINT_MODE/パラメーターを設定します。設定は任意です。

 参考	レーベル種類が " 光沢 CD/DVD レーベル " の場合、この設定は無効になります。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

構文

```
long PP100_SetPrintMode (char pJobID[41], unsigned long ulPrintMode)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
IN	ulPrintMode	印刷モードを指定します。 【印刷品質を重視する場合】 PP100API_PRINTMODE1 【印刷速度を重視する場合】 PP100API_PRINTMODE2 【指定されていない場合】 環境設定の印刷モードとなります。

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した pJobID[41]がNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_FAILURE	失敗

PP100_GetPrintMode

ジョブのPRINT_MODEパラメーターを取得します。戻り値がPP100API_SUCCESSの場合のみpPrintModeに取得した値が格納されます。

構文

```
long PP100_GetPrintMode (char pJobID[41], unsigned long * pPrintMode)
```

引数

引数		説明
IN	pJobID[41]	ジョブID
OUT	pPrintMode	印刷モード

戻り値

エラーステータス	説明
PP100API_SUCCESS	成功
PP100API_NOT_INITIALIZED	PP100_Initialize実行前に実行された
PP100API_INVALID_PARAMETER	以下のOR条件に一致した a. pJobID[41]がNULL b. pPrintModeがNULL
PP100API_JOB_NOT_CREATED	pJobID[41]で指定したジョブは生成されていない
PP100API_JOB_SETTING_NOT_SET	引数の値が未設定
PP100API_FAILURE	失敗

構造体

PP100API.hをインクルードすると、以下の構造体を使用できます。

構造体	説明
PP100_ENUM_PUBLISHER_INFO	Discproducerの情報
PP100_INK_STATUS	Discproducerのインク残量
PP100_PUBLISHER_STATUS	Discproducerのステータス
PP100_JOB_STATUS	Discproducerのジョブステータス
PP100_JOB_STATUS_EX	Discproducerのジョブステータス
PP100_WRITE_DATA	Discproducerの書き込みデータ
PP100_REPLACE_FIELD_TEXT	レーベルの差し込み印刷の文字列データ(テキスト)

PP100_ENUM_PUBLISHER_INFO

Discproducerの情報の構造体です。

変数	説明
char pPublisherName [65]	Total Disc Setupで登録した名前
unsigned long ulDriveNumber	ドライブ数
unsigned long ulConnectType	接続形態 (118ページ)
unsigned char ucReserved [512]	予約領域

PP100_INK_STATUS

Discproducerの各インクの残量(0～100)の構造体です。不明な場合、エラーコードPP100API_ERRORが格納されます。

変数	説明
unsigned long ulCyan	シアンインクの残量
unsigned long ulMagenta	マゼンタインクの残量
unsigned long ulYellow	イエローインクの残量
unsigned long ulLightCyan	ライトシアンインクの残量
unsigned long ulLightMagenta	ライトマゼンタインクの残量
unsigned long ulBlack	ブラックインクの残量

PP100_PUBLISHER_STATUS

Discproducerのステータスの構造体です。

変数		説明
unsigned long	ulINFORMATIONCode [50]	INFORMATIONコード (128ページ)
unsigned long	ulMode	発行モード (118ページ)
unsigned long	ulDriveStatus [2]	ドライブステータス (118ページ)
char	pDrivePluginName [2][41]	Windowsとの互換性のための領域
unsigned long	ulDriveLife [2]	ドライブの寿命(0~100)。 不明な場合、エラーコードPP100API_UNKNOWNが格納。
unsigned long	ulPrinterStatus	プリンタステータス (118ページ)
PP100_INK_STATUS	stInkStatus	インク残量 (114ページ)
unsigned long	ulStackerSetting [4]	スタッカーの設定
unsigned long	ulStackerRest [4]	スタッカー内のディスク残量(0~100)。 不明な場合、エラーコードPP100API_ERRORが格納。
unsigned long	ulPrintableCopies	Windowsとの互換性のための領域
unsigned long	ulPrintedCopies	印刷枚数
unsigned long	ulMaintenanceBoxFreeSpace	メンテナンスボックスの空き容量(0~100) (PP-100III)。 不明な場合、エラーコードPP100API_ERRORが格納。
char	pSerialNumber [33]	Discproducerのシリアル番号
unsigned long	ulDriveProgress [2]	ドライブの処理進捗(0~100)。 不明な場合、エラーコードPP100API_UNKNOWNが格納。
unsigned long	ulCompleteDiscNum	総発行枚数 (PP-100III)。 不明時な場合、エラーコードPP100API_ERRORが格納。
unsigned long	ulUsbConnectionMode	USB接続モード (118ページ)
unsigned char	ucReserved [496]	予約領域

PP100_JOB_STATUS

Discproducerのジョブステータスの構造体です。

変数		説明
char	pJobID [41]	ジョブID
char	pPublisherName [65]	Total Disc Setupで登録した名前
unsigned long	ulJobStatus	ジョブステータス (119ページ)
unsigned long	ulErrorCode	エラー・復帰待ちの要因 (121ページ)
unsigned long	ulPublicationNumber	発行指示枚数
unsigned long	ulCompletionNumber	完了枚数
unsigned long	ulJobType	ジョブの種類 (119ページ)
unsigned long	ulSource	供給元スタッカー (86ページ)
unsigned long	ulDestination	排出先スタッカー (84ページ)
unsigned long	ulJobIndex	Windowsとの互換性のための領域
unsigned long	ulEstimateTime	処理予想時間(秒)
unsigned long	ulErrorNumber	エラー終了した枚数
unsigned long	ulMode	発行モード (118ページ)
unsigned char	ucIsSubmittedByTotalDiscMaker	0(固定)
unsigned long	ulRemainingEstimateTime	残り処理予想時間(秒)
unsigned char	ucReserved [508]	予約領域

PP100_JOB_STATUS_EX

Discproducerのジョブステータスの構造体です。

変数	説明
char pJobID [41]	ジョブID
char pJobName[256]	ジョブ名
char pPublicationPerson[65]	ジョブ作成者
char pPublisherName [65]	Total Disc Setupで登録した名前
unsigned long ulJobStatus	ジョブステータス (119ページ)
unsigned long ulErrorCode	エラー・復帰待ちの要因 (121ページ)
unsigned long ulPublicationNumber	発行指示枚数
unsigned long ulCompletionNumber	完了枚数
unsigned long ulJobType	ジョブの種類 (119ページ)
unsigned long ulSource	供給元スタッカー (86ページ)
unsigned long ulDestination	排出先スタッカー (84ページ)
unsigned long ulJobIndex	Windowsとの互換性のための領域
unsigned long ulEstimateTime	処理予想時間(秒)
unsigned long ulErrorNumber	エラー終了した枚数
unsigned long ulMode	発行モード (118ページ)
unsigned char ucIsSubmittedByTotalDiscMaker	0(固定)
unsigned long ulRemainingEstimateTime	残り処理予想時間(秒)
unsigned char ucReserved [508]	予約領域

PP100_WRITE_DATA

Discproducerの書き込みデータの構造体です。

変数	説明
char pSourceData [256]	書き込み元データ
char pDestinationData [256]	書き込み先データ

PP100_REPLACE_FIELD_TEXT

レーベルの差し込み印刷の文字列データ(テキスト)を格納する構造体です。

変数	説明
char pName [1025]	差し込み対象となるアイテム名
char pValue [1025]	差し込む文字列

定数定義

機器情報

定数 (値)	説明
PP100API_CONNECTTYPE_USB	USB model
PP100API_CONNECTTYPE_ETH	Network model

発行モード

定数 (値)	説明
PP100API_NORMAL_MODE	標準モード
PP100API_OUTPUT_MODE	外部排出モード
PP100API_BATCH_MODE	バッチ処理モード

ドライブステータス / プリンターステータス

定数 (値)	説明	ドライブ	プリンター
PP100API_WAITING	待機中	✓	✓
PP100API_TRANSFERRING	搬送中	✓	✓
PP100API_PAUSED	停止中	✓	✓
PP100API_PRINTING	印刷中		✓
PP100API_DRYING	乾燥中		✓
PP100API_CLEANING	クリーニング中		✓
PP100API_WRITING	書き込み中	✓	
PP100API_VERIFYING_WRITE	書き込み確認中	✓	
PP100API_UNUSED	使用しない	✓	

USB 接続モード

定数 (値)	説明
PP100API_USB_20	USB2.0
PP100API_USB_30	USB3.0

JOB 種別

定数 (値)	説明
PP100API_JOB_TYPE_WRITE	書き込みジョブ
PP100API_JOB_TYPE_PRINT	印刷ジョブ
PP100API_JOB_TYPE_PUBLISH	書き込みと印刷ジョブ
PP100API_JOB_TYPE_CLEANING	クリーニングジョブ
PP100API_JOB_TYPE_NOZZLECHECK	ノズルチェックジョブ
PP100API_JOB_TYPE_GAPADJUSTMENT	GAP調整ジョブ
PP100API_JOB_TYPE_POSITIONOFFSET	オフセット調整ジョブ

JOB ステータス

定数	説明
PP100API_JOB_PROCESSING_TO_ACCEPT	ジョブが受付処理中
PP100API_JOB_WAITING	ジョブが発行待ち
PP100API_JOB_RUNNING	ジョブが発行中
PP100API_JOB_PAUSING	ジョブが一時停止処理中
PP100API_JOB_RECOVERING	ジョブが復帰待ち処理中
PP100API_JOB_CANCELING	ジョブがキャンセル処理中
PP100API_JOB_PAUSED	ジョブが一時停止中
PP100API_JOB_STANDBY	ジョブが復帰待ち。対処すると、ジョブは自動的に再開されます。
PP100API_JOB_PUBLISHED	ジョブが発行完了
PP100API_JOB_PUBLISHED_WARNING_NO_ERROR_DISC	ジョブが発行完了（警告あり、エラーディスクなし）
PP100API_JOB_PUBLISHED_WARNING_ERROR_DISC	ジョブが発行完了（警告あり、エラーディスクあり）
PP100API_JOB_USER_CANCELLED	ジョブがユーザーによってキャンセル処理された
PP100API_JOB_ERROR_CANCELLED	ジョブがエラーによってキャンセル処理された
PP100API_JOB_DENIED	ジョブが受付拒否されている

JOB 定義用定数

定数 (値)	説明
PP100API_STACKER1	スタッカー 1
PP100API_STACKER2	スタッカー 2
PP100API_STACKER3	スタッカー 3
PP100API_STACKER4	スタッカー 4
PP100API_STACKER1_OR_STACKER2	スタッカー 1, スタッカー 2
PP100API_STACKER2_OR_STACKER3	スタッカー 2, スタッカー 3
PP100API_STACKER2_OR_STACKER4	スタッカー 2, スタッカー 4
PP100API_NOSETTING	設定なし
PP100API_CD	CD
PP100API_DVD	DVD
PP100API_DVD_DL	DVDDL
PP100API_BD	BD
PP100API_BD_DL	BDDL
PP100API_BD_XL100	BD-R XL 100
PP100API_BD_XL128	BD-R XL 128
PP100API_COMPARE	コンペアする
PP100API_DONT_COMPARE	コンペアしない
PP100API_ISO9660L2	ISO9660 レベル2
PP100API_JOLIET	Joliet
PP100API_UDF102	UDF1.02
PP100API_UDF102_BRIDGE	UDF1.02 + UDFBridge
PP100API_UDF150	UDF1.50
PP100API_UDF260	UDF2.60
PP100API_CD_DVD_LABEL	CD/DVDレーベル
PP100API_CD_DVD_PREMIUM_LABEL	高画質対応CD/DVDレーベル
PP100API_EPSON_SPECIFIED_CD_DVD_LABEL	光沢 CD/DVDLabel
PP100API_PRINTMODE1	印刷モード1
PP100API_PRINTMODE2	印刷モード2
PP100API_PRINTMODE3	印刷モード3
PP100API_NOT_TIMEOUT	タイムアウトなし

エラーコード

ジョブ受付前

これらの場合には、ジョブは受付拒否になります。

ジョブの状態	関連機能	エラーコード	内容と対処方法
システムエラー		PP100API_SYS001	ジョブ発行処理が失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> 登録されているPublisherの機種種別が取得できない 統合制御サービス(EPSON Total Disc Control Service)が起動していないか、サービスのステータスが取得できない 作業フォルダーが見つからない、または、アクセス権がない 作業フォルダーの空き容量が足りない 予期せぬエラー
		PP100API_SYS002	出力機器との通信エラーにより、ジョブ発行が失敗しました。
		PP100API_SYS003	出力機器のHDDに、十分な空き容量がないためジョブ発行が失敗しました。
受付拒否	PUBLISHERキー	PP100API_JDF0200	PUBLISHERパラメーターで指定した出力機器が、有効な機器名として登録されていません。
		PP100API_JDF0201	PUBLISHERパラメーターで指定した出力機器が、サポート外のモード、または、モードを取得できません。
		PP100API_JDF0202	有効な出力機器が2台以上ありますが、PUBLISHERパラメーターで出力機器が指定されていません。また、環境設定で通常使う出力機器が設定されていないため、出力機器を特定できません。
		PP100API_JDF0203	有効な出力機器が1台も登録されていません。
	DISC_TYPEキー	PP100API_JDF0500	DISC_TYPEパラメーターで指定したディスク種類と、設定されている供給元スタッカーのディスク種類が、一致していません。
		PP100API_JDF0501	DISC_TYPEパラメーターが指定されていません。
		PP100API_JDF0502	使用可能な定数以外の値が設定されています。(88ページ)
	DATAキー DATA_LISTキー	PP100API_JDF0901	異なる書き込み元ファイルを、同一のフォルダーに同一のファイル名で書き込むことはできません。
		PP100API_JDF0902	指定されている記録フォーマットに適合しない書き込み先のパス（ファイル名を含む）が指定されています。
		PP100API_JDF0903	指定されているディスク種類に対して、書き込もうとしているデータの合計サイズが大き過ぎます。
		PP100API_JDF0904	書き込み先のフォルダー階層が128階層を超えています。
		PP100API_JDF0907	書き込み元のファイルに存在しないものが含まれています。
		PP100API_JDF0908	書き込み元のファイルにアクセス権がないものが含まれています。
		PP100API_JDF0914	4095MBを超えるファイルが指定されているため、指定された記録フォーマットでは書き込みができません。
	VOLUME_LABELキー	PP100API_JDF1000	指定したボリュームラベルが、指定した記録フォーマットに適合していません。

ジョブの状態	関連機能	エラーコード	内容と対処方法
受付拒否	FORMATキー	PP100API_JDF1400	ディスク種類がCDで、データファイルが指定されていますが、FORMATパラメーターに"ISO9660L2", "JOLIET", "UDF102"以外の値が指定されています。
		PP100API_JDF1401	ディスク種類がDVDまたはDVD-DLで、データファイルが指定されていますが、FORMATパラメーターに使用可能な定数以外の値が設定されています。(94ページ)
		PP100API_JDF1402	ディスク種類が"BD", "BD-DL", "BD-XL100"または"BD-XL128"で、データファイルが指定されていますが、FORMATパラメーターに使用可能な定数以外の値が設定されています。(94ページ)
	LABELキー	PP100API_JDF1500	LABELパラメーターで指定したレーベルファイルの形式には対応していません。
		PP100API_JDF1501	LABELパラメーターで指定したレーベルファイルが存在しません。
	PRINT_MODEキー	PP100API_JDF2602	PRINT_MODEパラメーターにPP100API_PRINTMODE2または、PP100API_PRINTMODE3が指定されていますが、LABEL_TYPEパラメーターにPP100API_EPSON_SPECIFIED_CD_DVD_LABELが指定されています。
		PP100API_JDF2603z	PRINT_MODEパラメーターにPP100API_PRINTMODE3は指定できません。
	マルチセッション書き込み	PP100API_JDF3005	マルチセッション書き込みで、セッション数が上限を超えています。
		PP100API_JDF3006	マルチセッション書き込みで、出力機種の種類がPP-100IIIもしくはPP-50IIではありません。
		PP100API_JDF3009	マルチセッション書き込みで、FORMATパラメーターに"UDF102"以外の値が指定されています。
		PP100API_JDF3010	書き込みデータサイズが空き容量を超えています。
		PP100API_JDF3011	マルチセッション書き込みで、ディスク種類にDVD-DLが指定されています。
	その他	PP100API_JDF0000	ディスク種類にCDが指定されていますが、データファイル、レーベルファイルのいずれも指定されていません。
		PP100API_JDF0001	ディスク種類にDVDまたはDVD-DLが指定されていますが、データファイル、レーベルファイルのいずれも指定されていません。
		PP100API_JDF0003	[PP-100III / PP-100NEIIの場合] ディスク種類に"BD", "BD-DL", "BD-XL100"または"BD-XL128"が指定されていますが、データファイル、レーベルファイル、Plug-In情報のいずれも指定されていません。
		PP100API_JDF0004	[PP-100III / PP-100NEIIの場合] 動作モードが読み込みモード時に、TD BridgeからJob発行されました。

ジョブ受付後

ジョブの状態	関連機能	エラーコード	内容と対処方法
受付済み ジョブ	キャンセル	PP100API_CAN000	ドライブトレイまたはプリンタートレイからのディスクピックアップに失敗しました。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。
		PP100API_CAN001	ピックアップ中のディスクを落としました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、落下したディスクを取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
		PP100API_CAN002	ディスクリリースに失敗しました。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。
		PP100API_CAN003	ドライブトレイまたはプリンタートレイへリリースしたはずのディスクがありません。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、内部に異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
		PP100API_CAN004	バッチ処理モードでジョブ開始時にスタッカー 3が空でなかったため、ジョブ実行中に排出先スタッカーがフルになりました。 対処方法： ①スタッカー 3のディスクを取り出して空にしてください。 ②スタッカー 1とスタッカー 2に新しいディスクをセットした後、ジョブを再実行してください。
		PP100API_CAN005	アーム移動でエラーが発生しました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、内部に異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
		PP100API_CAN006	オートローダーフェータルエラーが発生しました。モーター発熱によりアームを移動することができません。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、内部に異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れ直してください。
		PP100API_CAN007	ドライブトレイ制御に失敗しました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、ドライブトレイを確認し、異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
		PP100API_CAN008	ドライブがフェータルエラー状態のため、処理を行うことができません。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。
		PP100API_CAN009	プリンタートレイ制御に失敗しました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、プリンタートレイを確認し、異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
		PP100API_CAN010	プリンターフェータルエラーが発生しました。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。

ジョブの状態	関連機能	エラーコード	内容と対処方法
受付済み ジョブ	キャンセル	PP100API_CAN011	プリンターとの通信に失敗しました。 対処方法： プリンタードライバーのポート設定が正しか確認してください。
		PP100API_CAN012	指定されたプリンター名は有効ではありません。 対処方法： 使用するCD/DVD パブリッシャーが登録されていることをEPSON Total Disc Setupで確認してください。
		PP100API_CAN013	プリンターメンテナンスエラーが発生しました。 対処方法： 販売店またはサービスにお問い合わせください。
		PP100API_CAN014	インク吸収材の交換時期になりました。 対処方法： 販売店またはサービスにお問い合わせください。
		PP100API_CAN015	状態不正エラーが発生しました。以下のいずれかを検知しました。 ①ドライブトレイ上のディスクが無くなった ②プリンタートレイ上のディスクが無くなった ③ドライブトレイ上にディスクが置かれた ④プリンタートレイ上にディスクが置かれた ⑤アームがディスクを持たされた 対処方法： ①筐体内部に異常がないか確認してください。 ②Discproducer本体の電源を入れ直してください。
		PP100API_CAN016	JOBファイル不正エラーが発生しました。以下のいずれかを検知しました。 ①ディスクイメージファイル(ISO)が存在しないか、読み込めません。 ②レーベルデータファイル(PRN)が存在しないか、読み込めません。 ③ディスクイメージファイル(ISO)の作成がタイムアウトしました。 ④ジョブ情報が不正です。 ⑤次のセッション情報の受信がタイムアウトしました。 対処方法： ・セッションごとのPP100_SubmitSession/ PP100_SubmitJob呼び出し間隔を短くする。 ・PP100_SetSessionTimeoutで指定するタイムアウト値を大きくする。 設定しなかった場合のデフォルト値は1800(30分)に指定されています。
		PP100API_CAN017	サポート外バージョンエラーが発生しました。以下のいずれかを検知しました。 ①オートローダーファームウェアバージョンがサポートバージョン未満である ②ドライブ1のファームウェアバージョンがサポートバージョンと異なる ③ドライブ2のファームウェアバージョンがサポートバージョンと異なる ④プリンターファームウェアバージョンがサポートバージョン未満である 対処方法： デバイスのファームウェアをバージョンアップしてください。
		PP100API_CAN018	ジョブ発行時にTotal Disc Setupで指定した発行モードとデバイスに保存している発行モードが異なります。 対処方法： Total Disc Setupで発行モードを設定してください。

ジョブの状態	関連機能	エラーコード	内容と対処方法
受付済み ジョブ	キャンセル	PP100API_CAN019	以下のいずれかを検知しました。 ディスクイメージ作成中にソースパス不正により、ディスクイメージファイル作成が中断されました。 対処方法： ソースパスに指定されたファイル、フォルダーを確認してください。 マルチセッション書き込み機能実行時に、前のデータ書き込みから次のデータを受信するまでの時間が、設定したタイムアウト時間になったためジョブが中断されました。 対処方法： 最初のセッションからジョブ登録をやり直してください。
		PP100API_CAN020	出力機器との通信でエラーが発生しました。 対処方法： 電源やUSBケーブルの接続状態を確認してください。
	一時停止	PP100API_STP000	ディスク種類違い等により、再試行回数がTotal Disc Setupで設定された書き込みリトライ回数に達しました。 対処方法： ①供給元スタッカー内のディスクを確認してください。 ②Total Disc Monitorで一時停止中のジョブを再開またはキャンセルしてください。
		PP100API_STP001	連続書き込みエラーにより、再試行回数がTotal Disc Setupで設定された書き込みリトライ回数に達しました。 対処方法： ①供給元スタッカー内のディスクを確認してください。 ②Total Disc Monitorで一時停止中のジョブを再開またはキャンセルしてください。 エラーが再発する場合、販売店またはサービスにお問い合わせください。
	自動復帰	PP100API_RTN000	ジョブで指定された供給元スタッカーにディスクがありません。 対処方法： 供給元スタッカーにディスクを補充してください。
		PP100API_RTN001	ジョブで指定された排出先スタッカーがフルになりました。 対処方法： 排出先スタッカーからディスクを取り除いてください。
		PP100API_RTN002	ディスクカバーが開いています。 対処方法： ディスクカバーを閉じてください。
		PP100API_RTN003	インクカートリッジカバーが開いています。 対処方法： インクカートリッジカバーを閉じてください。
		PP100API_RTN004	インク交換時期のためレーベル印刷できません。 対処方法： 交換時期となったインクカートリッジを交換してください。
		PP100API_RTN005	インクカートリッジがありません。 対処方法： インクカートリッジを装着してください。
		PP100API_RTN006	スタッカーが装着されていないためディスク発行できません。 対処方法： スタッカーを装着してください。

ジョブの状態	関連機能	エラーコード	内容と対処方法
受付済み ジョブ	自動復帰	PP100API_RTNO07	スタッカー 3の装着状態が発行モードとあっていないため、ディスク発行できません。 対処方法： 標準・外部排出モードの場合は、スタッカー 3を外してください。 バッチ処理モードの場合は、スタッカー 3を装着してください。
		PP100API_RTNO08	スタッカー 4が開いているためディスク発行できません。 対処方法： スタッカー 4を閉じてください。
		PP100API_RTNO09	ドライブに搬送したディスクが複数枚であることを検出しました。 対処方法： ①ディスクカバーを開けてください。 ②開いているドライブトレイからディスクを取り除き、ディスクカバーを閉じてください。
		PP100API_RTNO10	プリンターに搬送したディスクが複数枚であることを検出しました。 対処方法： ①ディスクカバーを開けてください。 ②開いているプリンタートレイからディスクを取り除き、ディスクカバーを閉じてください。
		PP100API_RTNO11	インクカートリッジを正しく認識できません。 対処方法： インクカートリッジを正しく装着してください。
		PP100API_RTNO12	供給元スタッカーからのディスクピックに失敗しました。 対処方法： 供給元スタッカー内のディスクをほぐしてください。
		PP100API_RTNO13	スタッカーに許容枚数を超過してディスクが入っているため、発行処理ができません。 対処方法： スタッカー内のディスクを減らしてください。
		PP100API_RTNO14	メンテナンスボックスカバーが正しくセットされていません。 対処方法： カバーの状態を確認してください。
		PP100API_RTNO15	メンテナンスボックスが交換時期です。 対処方法： 新しいメンテナンスボックスに交換してください。
		PP100API_RTNO16	メンテナンスボックスが外れています。 対処方法： メンテナンスボックスを装着してください。
		PP100API_RTNO17	メンテナンスボックスを正しく認識できません。 対処方法： メンテナンスボックスを正しく装着してください。
	その他	PP100API_OTH000	ジョブの状態を取得できません。ディスクの発行は引き続き可能です。 また、ジョブ発行直後に一時的に出力される場合があります。 対処方法： INFORMATIONコードが出力されている場合、128ページ「INFORMATIONコード」を参照し、コードに応じた対処方法をしてください。 INFORMATIONコードが出力されていない場合、エラーではありません。

INFORMATION コード

INFORMATIONコードは登録されているDiscproducerの状態を表します。複数の要因がある場合は、すべて表示されます。

項目	INFORMATION コード	内容と対処方法
プリンター	PP100API_HPR000	プリンターフェータルエラーが発生しました。 対処方法： 出力機器の電源を入れ直してください。
	PP100API_HPR001	プリンターメンテナンスエラーが発生しました。 対処方法： 販売店またはサービスにお問い合わせください。
	PP100API_HPR002	インク吸収材の交換時期になりました。 対処方法： 販売店またはサービスにお問い合わせください。
	PP100API_HPR003	プリンターとの通信に失敗しました。 対処方法： プリンタードライバーのポート設定を確認してください。
	PP100API_HPR005	インクカートリッジカバーが開いています。 対処方法： インクカートリッジカバーを閉じてください。
	PP100API_HPR006	プリンターメンテナンスエラーが発生しました。 対処方法： 販売店またはサービスにお問い合わせください。
	PP100API_HPR007	メンテナンスボックスが外れています。 対処方法： メンテナンスボックスを装着してください。
	PP100API_HPR008	メンテナンスボックスが交換時期です。 対処方法： 新しいメンテナンスボックスに交換してください。
	PP100API_HPR009	メンテナンスボックスを正しく認識できません。 対処方法： メンテナンスボックスを正しく装着してください。
	PP100API_HPR010	メンテナンスボックスカバーが正しくセットされていません。 対処方法： カバーの状態を確認してください。
ドライブ	PP100API_HDR000	ドライブトレイ制御に失敗しました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、ドライブトレイを確認し、異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
	PP100API_HDR001	ドライブがフェータルエラー状態のため、処理を行うことができません。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。
	PP100API_HDR002	ドライブを認識できないため、Discproducer本体の初期化動作ができません。 対処方法： ①Discproducer本体のドライブの接続状態を確認します。 ②Discproducer本体の電源を入れ直してください。

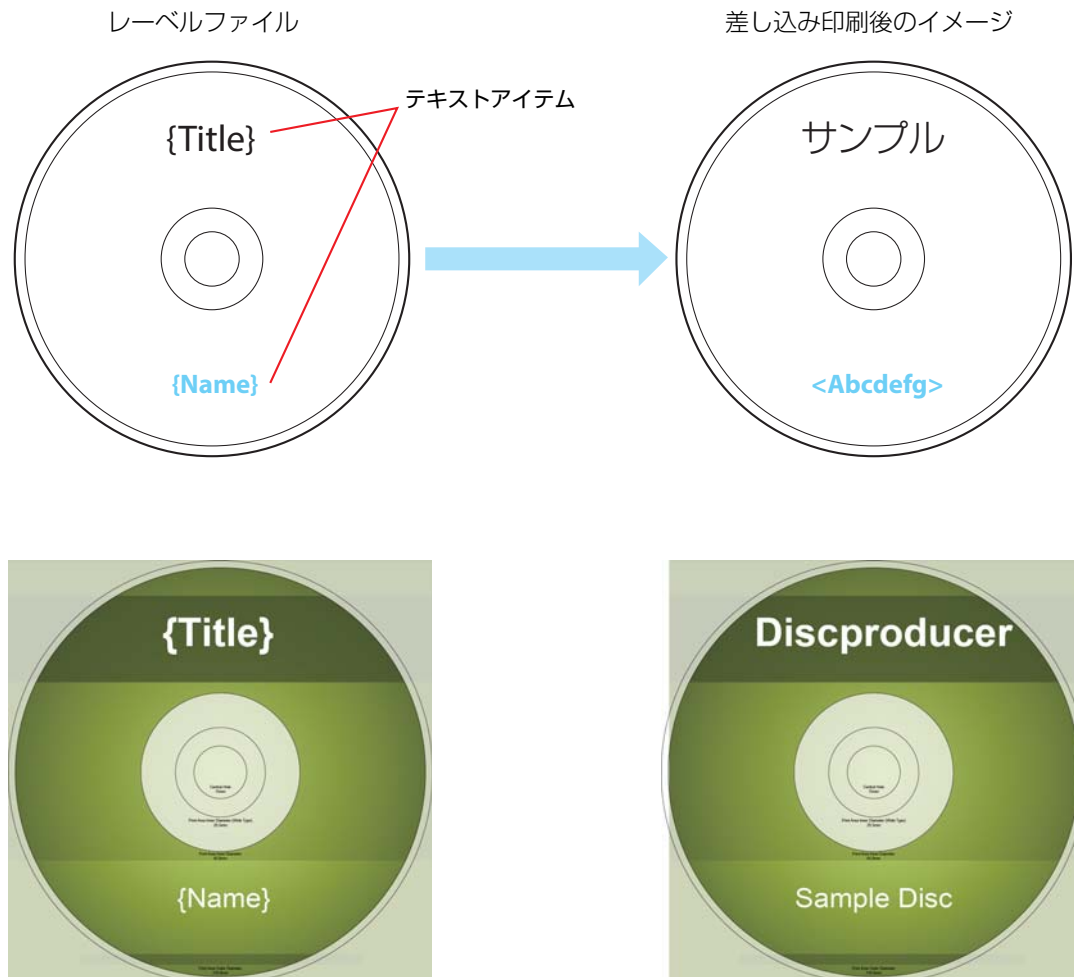
項目	INFORMATION コード	内容と対処方法
オートローダー	PP100API_HAR000	ドライブトレイまたはプリンタートレイからのディスクピックに失敗しました。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。
	PP100API_HAR001	ピック中のディスクを落としました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、落下したディスクを取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
	PP100API_HAR002	ディスクリリースに失敗しました。 対処方法： Discproducer本体の電源を入れ直してください。
	PP100API_HAR003	ドライブトレイまたはプリンタートレイへリリースしたはずのディスクがありません。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、内部に異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
	PP100API_HAR004	アーム移動でエラーが発生しました。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、内部に異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
	PP100API_HAR005	オートローダーフェータルエラーが発生しました。モーター発熱によりアームを移動することができません。 対処方法： ①Discproducer本体の電源を切った後、内部に異物があれば取り除いてください。 ②Discproducer本体の電源を入れてください。
	PP100API_HAR007	スタッカーからのディスクピックに失敗しました。 対処方法： ①ディスクカバーを開けてください。 ②供給スタッカー内のディスクをほぐし、ディスクカバーを閉じてください。
	PP100API_HAR008	ドライブに搬送したディスクが複数枚であることを検出しました。 対処方法： ①ディスクカバーを開けてください。 ②開いているドライブトレイからディスクを取り除き、ディスクカバーを閉じてください。
	PP100API_HAR009	プリンターに搬送したディスクが複数枚であることを検出しました。 対処方法： ①ディスクカバーを開けてください。 ②開いているプリンタートレイからディスクを取り除き、ディスクカバーを閉じてください。
シアンインク	PP100API_HIKC000	シアンインクカートリッジが外れています。 対処方法： シアンインクカートリッジを装着してください。
	PP100API_HIKC001	シアンインクカートリッジの型番が異なる、または、型番を認識できません。 対処方法： 正しいシアンインクカートリッジを装着してください。
マゼンタインク	PP100API_HIKM000	マゼンタインクカートリッジが外れています。 対処方法： マゼンタインクカートリッジを装着してください。
	PP100API_HIKM001	マゼンタインクカートリッジの型番が異なる、または、型番を認識できません。 対処方法： 正しいマゼンタインクカートリッジを装着してください。

項目	INFORMATION コード	内容と対処方法
イエローインク	PP100API_HIKY000	イエローインクカートリッジが外れています。 対処方法： イエローインクカートリッジを装着してください。
	PP100API_HIKY001	イエローインクカートリッジの型番が異なる、または、型番を認識できません。 対処方法： 正しいイエローインクカートリッジを装着してください。
ライトシアン	PP100API_HIKLC000	ライトシアンインクカートリッジが外れています。 対処方法： ライトシアンインクカートリッジを装着してください。
	PP100API_HIKLC001	ライトシアンインクカートリッジの型番が異なる、または、型番を認識できません。 対処方法： 正しいライトシアンインクカートリッジを装着します。
ライトマゼンタインク	PP100API_HIKLM000	ライトマゼンタインクカートリッジが外れています。 対処方法： ライトマゼンタインクカートリッジを装着してください。
	PP100API_HIKLM001	ライトマゼンタインクカートリッジの型番が異なる、または、型番を認識できません。 対処方法： 正しいライトマゼンタインクカートリッジを装着します。
ブラックインク	PP100API_HIKBK000	ブラックインクカートリッジが外れています。 対処方法： ブラックインクカートリッジを装着してください。
	PP100API_HIKBK001	ブラックインクカートリッジの型番が異なる、または、型番を認識できません。 対処方法： 正しいブラックインクカートリッジを装着してください。
スタッカー 1	PP100API_HST1000	スタッカー 1 に許容枚数を超えてディスクが入っているため、発行処理ができません。 対処方法： スタッカー 1 内のディスクを減らしてください。
	PP100API_HST1001	スタッカー 1 が装着されていません。 対処方法： スタッカー 1 を装着してください。
スタッカー 2	PP100API_HST2000	スタッカー 2 に許容枚数を超えてディスクが入っているため、発行処理ができません。 対処方法： スタッカー 2 内のディスクを減らしてください。
	PP100API_HST2001	スタッカー 2 が装着されていません。 対処方法： スタッカー 2 を装着してください。
スタッカー 3	PP100API_HST3000	スタッカー 3 に許容枚数を超えてディスクが入っているため、発行処理ができません。 対処方法： スタッカー 3 内のディスクを減らしてください。
	PP100API_HST3001	標準モード、外部排出モードで排出先がスタッカー 3 に設定されていますが、スタッカー 3 が装着されていません。または、バッチ処理モードで、スタッカー 3 が装着されていません。 対処方法： スタッカー 3 を装着してください。
	PP100API_HST3002	標準モードまたは、外部排出モードで排出先がスタッカー 4 に設定されていますが、スタッカー 3 が装着されています。 対処方法： [PP-100III / PP-100NEII の場合] スタッカー 3 を外してください。

項目	INFORMATION コード	内容と対処方法
ディスクカバー	PP100API_HDC000	ディスクカバーが開いています。 対処方法： ディスクカバーを閉じてください。
通信	PP100API_HNW000	Discproducerと通信できません。 対処方法： ①Discproducerの電源状態を確認してください。 ②USBケーブルの接続状態を確認してください。 ③出力機器を接続し、電源を入れ直してください。
	PP100API_HNW001	サポート外バージョンエラーが発生しました。以下のいずれかを検知しました。 ①オートローダーファームウェアバージョンがサポートバージョン未満である ②ドライブ1のファームウェアバージョンがサポートバージョンと異なる ③ドライブ2のファームウェアバージョンがサポートバージョンと異なる ④プリンターファームウェアバージョンがサポートバージョン未満である 対処方法： ①デバイスのファームウェアをバージョンアップしてください。

差し込み印刷の方法

差し込み印刷とは、レーベルファイルのテキストアイテムを、APIを使ってテキストを差し換えて印刷します。



設定手順

テキストの差し込み印刷をする場合、以下の手順で行います。

レーベルファイルの準備

レーベルファイルのテキストアイテムに、差し込み印刷の設定をします。(133ページ)

印刷する文字を設定

APIを呼び出して、差し込み印刷するテキストアイテムと、印刷する文字列を指定します。(133ページ)

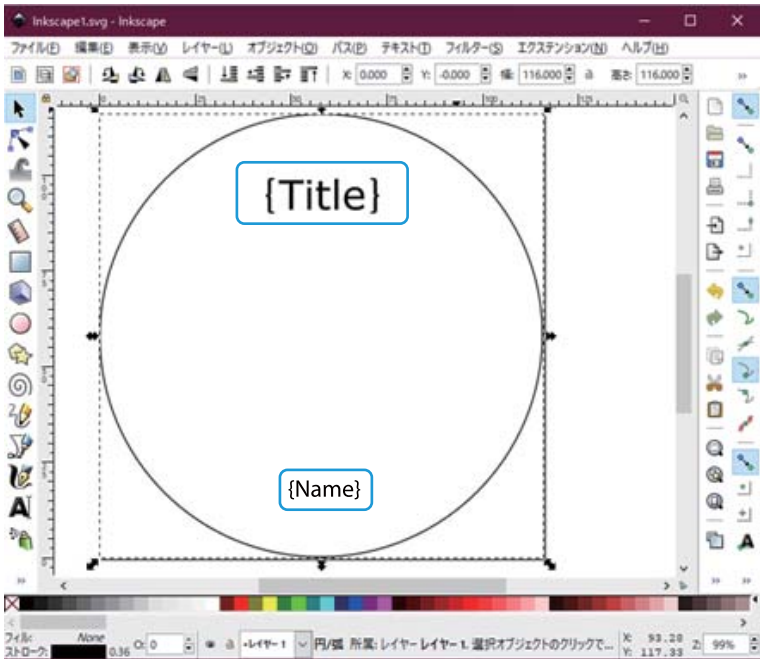
ジョブを発行


APIを呼び出して、ジョブを発行します。(133ページ)

レーベルファイルの準備

レーベルファイルのテキストアイテムに、差し込み印刷の設定をします。レーベルファイルの編集はInkscapeを使います。(ファイル形式：SVG)

テキストの前後を"{" で囲みます。"}"で囲まれたテキストアイテムが、差し込み印刷用のテキストアイテムになります。(例：Title → {Title}、Name → {Name})




参考

- テキストのフォント、サイズ、色などを編集します。差し込むテキストに反映されます。
- テキストサイズは自動調整されません。差し込み印刷時の文字切れにご注意ください。

印刷する文字を設定

APIを呼び出して、差し込み印刷の設定をします。差し込み印刷の対象にするテキストアイテムと、印刷する文字列を指定します。

- 構造体 [PP100_REPLACE_FIELD_TEXT](#) に、テキストアイテムと、印刷する文字列を指定します。(117ページ)

プロパティ	説明
pName [1025]	レーベルファイルで設定した、差し込み印刷の対象にするテキストアイテム名 (例：Title、Name)
pValue [1025]	印刷する文字列 (例：サンプル、Abcdefg)

- [PP100_SetReplaceFieldText](#) を呼び出します。(106 ページ)

ジョブを発行

[PP100_SubmitJob](#)を呼び出して、指定した差し込み印刷の設定でジョブを発行します。(72ページ)

マルチセッション書き込み機能

機能の概要

映像管理システムでの利用例を元に説明します。撮影中の映像データは、映像管理システムに随時集められます。映像管理システムは、一定の間隔で映像データを発行端末に送ります。発行端末上の連携アプリケーションは、受け取ったデータを書き込みます。

従来は、ディスクに書き込むデータが全て揃ってからでないと書き込みを開始できませんでしたが、Ver.8.0で追加されたマルチセッション書き込み機能では、受け取ったデータごとに書き込み/コンペアします。そのため、従来よりもディスク完成の時間が速くなり、データ改ざんなどのリスクも減らせます。

- 使用可能な機種: PP-100III, PP-50II
- 使用可能メディア: CD-R、DVD-R、BD-R、BD-R DL、BD-R XL 100、BD-R XL 128
※DVD+R、DVD-R DL、DVD+R DLは使用できません。
- 使用可能フォーマット:UDF1.02
- セッション数の上限: 99

タイムチャート例
ディスクアットワンス

時間経過													
		15		30		45		60		75		90	
監視カメラ													
動画ファイル	MP4-1	MP4-2		MP4-3		MP4-4							
Disc 1								レーベルデータ	MP 4-1	MP 4-2	MP 4-3	MP 4-4	印刷
Disc 2								レーベルデータ	MP 4-1	MP 4-2	MP 4-3	MP 4-4	印刷

まとめて書き込み／コンペアを実行

マルチセッション

時間経過													
		15		30		45		60		75		90	
監視カメラ													
動画ファイル	MP4-1	MP4-2		MP4-3		MP4-4							
Disc 1		レーベルデータ	MP 4-1		MP 4-2		MP 4-3		MP 4-4	印刷			
Disc 2		レーベルデータ	MP 4-1		MP 4-2		MP 4-3		MP 4-4	印刷			

データごとに書き込み／コンペアを実行

タイムアウト処理について

PP100_SubmitSessionの実行によりマルチセッション書き込みジョブの発行を行っている場合、

ディスクフォーマット	挙動	記録面	レーベル
最後のPP100_SubmitSession呼び出しから、データの登録を行いPP100_SubmitJobを呼び出した場合	排出されます	ディスクは追記禁止	印刷されます
最後のPP100_SubmitSession呼び出しから、データの登録を行わずにPP100_SubmitJobを呼び出した場合	排出されます	ディスクの末尾にデータを含まないセッションが追加され、ディスクは追記禁止	印刷されます
PP100_SubmitJobが実行されない場合でタイムアウト時間が経過した場合	タイムアウト時間経過後に、該当のジョブはキャンセルされ、レーベル印刷が実施されず、エラースタッカーに排出されます。	ディスクは追記可	印刷されません。
PP100_SubmitJobが実行されない場合でタイムアウトが無効(PP100API_NOT_TIME_OUT)になっている場合	永久に待機します。ドライブから排出するには、手動でキャンセルを行う必要があります。	最後のセッション書き込みが終了していれば、ディスクは追記可	印刷されません。

トラブルシューティング

本章では、トラブル発生時の対応方法を説明します。

ログ

ログファイルの取得方法は、[38ページ「ログ取得機能」](#)を参照してください。

以下の個人情報はログに出力しません。

- ジョブ名
- Total Disc Setup で設定する機器名
- コンピューター名
- ログインユーザー名
- 記録面のデータのファイル名、フォルダ名、種類、および内容
- レーベル面の画像、ファイル名、フォルダ名、差し込みテキスト
- その他、ユーザーが任意で設定可能な文字列

依存ライブラリーのインストール

必要な依存ライブラリーがインストールされていない場合、手動で追加のインストールをします。

必要な依存ライブラリーの詳細は、[10ページ「依存ライブラリー」](#)を参照してください。

例

```
# yum install inkscape
```


付録

Windows との比較

項目		Linux	Windows
文字列		char型、UTF-8	wchar_t型、UTF-16
calling convention		gccのデフォルト	_stdcall
レーベル画像		SVG, PNG, JPEG	TDD, PNG, JPEG
レーベル編集		Inkscape	Total Disc Maker
差し込み印刷		SVGが必要。 フォントサイズは固定。 バーコード非対応。 テキストのみ。	TDDが必要。 フォントサイズは自動スケール。 バーコード対応。 テキスト、バイナリ両対応。
データ種類		File, Folder, ISO	File, Folder, ISO, Indirect File
ディスク種類	Data	CD/DVD/BD	CD/DVD/BD
	Music	なし	CD,DVD-Video
データフォーマット		ISO9660, UDF1.02, UDF2.60	ISO9660, UDF1.02, UDF2.60, UDF Bridge,UDF1.50
音楽		なし	あり
ビデオ		なし	あり
計測		なし	あり
アーカイブディスク		なし	あり
プラグインジョブ		なし	あり
Interface	Publish	PP-100 API+Sample Soft	Total Disc Maker, TD Bridge
	Monitor	PP-100 API+Sample Soft	Total Disc Monitor,Status.txt
	Setting	Total Disc Setup for Linux	Total Disc Setup
サポート Discproducer モデル	PP-100III	あり	あり
	PP-50II	あり	あり
	PP-100NEII	あり *	あり

* TD Bridge for Linux Ver.2.50以降対応

依存ライブラリーの確認

依存ライブラリー	License
libpng1.6.x	Libpng
libusb1.0.x	LGPL2.1
Inkscape	GPL
imagemagick/	Imagemagick (Apacche?)
GraphicsMagick	MIT
Qt5	LGPL v2.1 + Nokia Qt LGPL Exception version 1

オープンソースソフトウェアの著作権について

Discproducerは当社が権利を有するソフトウェアの他にオープンソースソフトウェアを利用しています。
Discproducerに利用にされているオープンソースソフトウェアに関する情報は下記のとおりです。

This software is built with following OSS.

1. libpng 1.6.0 -- libpng License
2. libusb 1.0.20 / 1.0.21 -- LGPL version, LGPL-2.1
3. Qt 5.5.1 -- LGPL version, LGPL-2.1-or-3 with Qt-1.1 exception
4. RFC 3174 (SHA1) -- RFC 3174 - US Secure Hash Algorithm 1 (SHA1)
5. libmd 1.0.4(include/md5.h+src/md5.c) -- Public Domain
6. libmd 1.0.4(include/sha1.h+src/sha1.c) -- Public Domain
7. libmd 1.0.4(include/sha2.h+src/sha2.c) -- BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

This software may work with following OSS.

8. inkscape -- Inkscape license
9. ImageMagick -- ImageMagick license
10. GraphicsMagick -- GraphicsMagick Copyrights and Licenses

libpng License

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.6.0, February 14, 2013, are
Copyright (c) 2004, 2006-2012 Glenn Randers-Pehrson, and are
distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5
with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are
Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are
distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6
with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are
Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are
distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96,
with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are
Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger
Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88,
with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are
Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors"
is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg" (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
February 14, 2013

LGPL version, LGPL-2.1

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

O. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the library's name and an idea of what it does.

Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in
the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written
by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Qt-1.1 exception

The Qt Company Qt LGPL Exception version 1.1

As an additional permission to the GNU Lesser General Public License version 2.1, the object code form of a "work that uses the Library" may incorporate material from a header file that is part of the Library. You may distribute such object code under terms of your choice, provided that:

- (i) the header files of the Library have not been modified; and
- (ii) the incorporated material is limited to numerical parameters, data structure layouts, accessors, macros, inline functions and templates; and
- (iii) you comply with the terms of Section 6 of the GNU Lesser General Public License version 2.1.

Moreover, you may apply this exception to a modified version of the Library, provided that such modification does not involve copying material from the Library into the modified Library's header files unless such material is limited to (i) numerical parameters; (ii) data structure layouts; (iii) accessors; and (iv) small macros, templates and inline functions of five lines or less in length.

Furthermore, you are not required to apply this additional permission to a modified version of the Library.

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation, version 2 of the License.

The full text of the LGPL is distributed as in
/usr/share/common-licenses/LGPL-2 on Debian systems.

In addition, as the copyright holder of CUPS, Apple Inc. grants the following special exception:

1. Apple Operating System Development License Exception;
 - a. Software that is developed by any person or entity for an Apple Operating System ("Apple OS-Developed Software"), including but not limited to Apple and third party printer drivers, filters, and backends for an Apple Operating System, that is linked to the CUPS imaging library or based on any sample filters or backends provided with CUPS shall not be considered to be a derivative work or collective work based on the CUPS program and is exempt from the mandatory source code release clauses of the GNU GPL. You may therefore distribute linked combinations of the CUPS imaging library with Apple OS-Developed Software without releasing the source code of the Apple OS-Developed Software.

You may also use sample filters and backends provided with CUPS to develop Apple OS-Developed Software without releasing the source code of the Apple OS-Developed Software.

- b. An Apple Operating System means any operating system software developed and/or marketed by Apple Computer, Inc., including but not limited to all existing releases and versions of Apple's Darwin, Mac OS X, and Mac OS X Server products and all follow-on releases and future versions thereof.
- c. This exception is only available for Apple OS-Developed Software and does not apply to software that is distributed for use on other operating systems.
- d. All CUPS software that falls under this license exception have the following text at the top of each source file:

This file is subject to the Apple OS-Developed Software exception.

2. OpenSSL Toolkit License Exception;

- a. Apple Inc. explicitly allows the compilation and distribution of the CUPS software with the OpenSSL Toolkit.

No developer is required to provide these exceptions in a derived work.

RFC 3174 (SHA1)

RFC 3174 - US Secure Hash Algorithm 1 (SHA1)

Copyright (C) The Internet Society (2001). All Rights Reserved.

This document and translations of it may be copied and furnished to others, and derivative works that comment on or otherwise explain it or assist in its implementation may be prepared, copied, published and distributed, in whole or in part, without restriction of any kind, provided that the above copyright notice and this paragraph are included on all such copies and derivative works. However, this document itself may not be modified in any way, such as by removing the copyright notice or references to the Internet Society or other Internet organizations, except as needed for the purpose of developing Internet standards in which case the procedures for copyrights defined in the Internet Standards process must be followed, or as required to translate it into languages other than English.

The limited permissions granted above are perpetual and will not be revoked by the Internet Society or its successors or assigns.

This document and the information contained herein is provided on an "AS IS" basis and THE INTERNET SOCIETY AND THE INTERNET ENGINEERING TASK FORCE DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Acknowledgement

Funding for the RFC Editor function is currently provided by the Internet Society.

BSD 3-Clause "New" or "Revised" License

Copyright (c) 2000-2001, Aaron D. Gifford

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTOR(S) "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Inkscape license

Inkscape license

=====

Most Inkscape source code is available under the GNU General Public License, version 2 or later.

Notable exceptions are:

- some libraries in src/3rdparty (mostly GNU Lesser General Public License or Mozilla Public License).
- a few files copied from GIMP, which are available under GNU (L)GPL version 3 or later.
- a few files which are dual-licensed, which means that they offer the additional permission to alternatively use them under another license.

As such, the complete binaries of Inkscape are currently covered by the terms of GNU GPL version 3 or later.

License of individual source files

=====

The license of each individual inkscape source file can be found in the first few lines after "SPDX-License-Identifier:". The license text of every such license can be found in LICENSES/. Some files are dual-licensed, e.g. "GPL-2.0-or-later OR MPL-1.1", which means you can choose one of these licenses.

Libraries have their COPYING or LICENSE file in the respective subdirectory.

See also <https://spdx.org/licenses/> for the full license texts, and <https://spdx.org/ids> for the standardized header format.

License Compatibility

=====

Suggested reading for license version compatibility: <https://www.gnu.org/licenses/gpl-faq.html#AllCompatibility>

Roughly summarized (I am not a lawyer, this is not legal advice):

- You may legally make the following license changes without having to ask anyone:
 LGPL-2.1-or-later -> GPL-2.0-or-later -> GPL-3.0-or-later
 LGPL-3.0-or-later -> GPL-3.0-or-later
- Due to that, the resulting inkscape must be under GPL-3.0-or-later.
- Any license that is not "-or-later" is evil and must not be used in the inkscape project.

ImageMagick license

Before we get to the text of the license, lets just review what the license says in simple terms:

It allows you to:

- freely download and use ImageMagick software, in whole or in part, for personal, company internal, or commercial purposes;
- use ImageMagick software in packages or distributions that you create;

- link against a library under a different license;
- link code under a different license against a library under this license;
- merge code into a work under a different license;
- extend patent grants to any code using code under this license;
- and extend patent protection.

It forbids you to:

- redistribute any piece of ImageMagick-originated software without proper attribution;
- use any marks owned by ImageMagick Studio LLC in any way that might state or imply that ImageMagick Studio LLC endorses your distribution;
- use any marks owned by ImageMagick Studio LLC in any way that might state or imply that you created the ImageMagick software in question.

It requires you to:

- include a copy of the license in any redistribution you may make that includes ImageMagick software;
- provide clear attribution to ImageMagick Studio LLC for any distributions that include ImageMagick software.

It does not require you to:

- include the source of the ImageMagick software itself, or of any modifications you may have made to it, in any redistribution you may assemble that includes it;
- submit changes that you make to the software back to the ImageMagick Studio LLC (though such feedback is encouraged).

A few other clarifications include:

- ImageMagick is freely available without charge;
- you may include ImageMagick on a DVD as long as you comply with the terms of the license;
- you can give modified code away for free or sell it under the terms of the ImageMagick license or distribute the result under a different license, but you need to acknowledge the use of the ImageMagick software;
- the license is compatible with the GPL V3.
- when exporting the ImageMagick software, review its export classification.

Terms and Conditions for Use, Reproduction, and Distribution

The legally binding and authoritative terms and conditions for use, reproduction, and distribution of ImageMagick follow:

Copyright 1999-2013 ImageMagick Studio LLC, a non-profit organization dedicated to making software imaging solutions freely available.

1. Definitions.

License shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

Licensor shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

Legal Entity shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, control means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

You (or Your) shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

Source form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

Object form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

Work shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

Derivative Works shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

Contribution shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as Not a Contribution.

Contributor shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

How to Apply the License to your Work

To apply the ImageMagick License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information (don't include the brackets). The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the ImageMagick License (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.imagemagick.org/script/license.php>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

GraphicsMagick Copyrights and Licenses

.. -*- mode: rst -*-

.. This text is in reStructuredText format, so it may look a bit odd.

.. See <http://docutils.sourceforge.net/rst.html> for details.

=====

GraphicsMagick Copyrights and Licenses

=====

This file is part of the GraphicsMagick software distributed by the GraphicsMagick Group.

[*Please note that the legal community considers 15 or more total lines of code or text (not necessarily contiguous) to be significant for the purposes of copyright. Repeated changes such as renaming a symbol has similar significance to changing one line of code.*]

The licenses which components of this software fall under are as follows.

1)

In November 2002, the GraphicsMagick Group created GraphicsMagick from ImageMagick Studio's ImageMagick and applied the "MIT" style license:

Copyright (C) 2002-2020 GraphicsMagick Group

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

2)

In October 1999, ImageMagick Studio assumed the responsibility for the development of ImageMagick (forking from the distribution by E. I. du Pont de Nemours and Company) and applied a new license:

Copyright (C) 2002 ImageMagick Studio, a non-profit organization dedicated to making software imaging solutions freely available.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files ("ImageMagick"), to deal in ImageMagick without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of ImageMagick, and to permit persons to whom the ImageMagick is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of ImageMagick.

The software is provided "as is", without warranty of any kind, express or implied, including but not limited to the warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and noninfringement. In no event shall ImageMagick Studio be liable for any claim, damages or other liability, whether in an action of contract, tort or otherwise, arising from, out of or in connection with ImageMagick or the use or other dealings in ImageMagick.

Except as contained in this notice, the name of the ImageMagick Studio shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in ImageMagick without prior written authorization from the ImageMagick Studio.

3)

From 1991 to October 1999 (through ImageMagick 4.2.9), ImageMagick was developed and distributed by E. I. du Pont de Nemours and Company:

Copyright 1999 E. I. du Pont de Nemours and Company

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files ("ImageMagick"), to deal in ImageMagick without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of ImageMagick, and to

permit persons to whom the ImageMagick is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of ImageMagick.

The software is provided "as is", without warranty of any kind, express or implied, including but not limited to the warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and noninfringement. In no event shall E. I. du Pont de Nemours and Company be liable for any claim, damages or other liability, whether in an action of contract, tort or otherwise, arising from, out of or in connection with ImageMagick or the use or other dealings in ImageMagick.

Except as contained in this notice, the name of the E. I. du Pont de Nemours and Company shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in ImageMagick without prior written authorization from the E. I. du Pont de Nemours and Company.

4)

The GraphicsMagick Base64Decode() and Base64Encode() functions are based on source code obtained from OpenSSH. This source code is distributed under the following license:

Copyright (c) 2000 Markus Friedl. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS`` AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY

THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5)

Many of the pattern images in coders/logo.c are derived from XFig, which is distributed under the following license:

```
; FIG : Facility for Interactive Generation of figures
; Copyright (c) 1985-1988 by Supoj Sutanthavibul
; Parts Copyright (c) 1989-2000 by Brian V. Smith
; Parts Copyright (c) 1991 by Paul King
```

Any party obtaining a copy of these files is granted, free of charge, a full and unrestricted irrevocable, world-wide, paid up, royalty-free, nonexclusive right and license to deal in this software and documentation files (the "Software"), including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons who receive copies from any such party to do so, with the only requirement being that this copyright notice remain intact.

6)

The documentation for the composition operators is copied from the rlecomp manual page, which is authored by Rod Bogart and John W. Peterson. Rlecomp is part of the Utah Raster Toolkit distributed by the University of Michigan and the University of Utah. The copyright for this manual page is as follows:

Copyright (c) 1986, University of Utah

This software is copyrighted as noted below. It may be freely copied, modified, and redistributed, provided that the copyright notice is preserved on all copies.

There is no warranty or other guarantee of fitness for this software, it is provided solely "as is". Bug reports or fixes may be sent to the author, who may or may not act on them as he desires.

You may not include this software in a program or other software product without supplying the source, or without informing the end-user that the source is available for no extra charge.

If you modify this software, you should include a notice giving the name of the person performing the modification, the date of modification, and the reason for such modification.

7)

The source code comprising `magick_endian.c` is originally derived from `libtiff` which has the following license:

```
| Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
| Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
```

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

8)

The C++ API known as "Magick++", and which resides in the `Magick++` directory, is distributed under the following license:

Copyright 1999 - 2012 Bob Friesenhahn <bfriesen@simple.dallas.tx.us>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files ("Magick++"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

9)

The GraphicsMagick HaldClutImagePixels() function in magick/hclut.c is based on source code from the HaldCLUT package by Eskil Steenberg (<http://www.quelsolaar.com/technology/clut.html>) which is distributed under the following license:

Copyright (c) 2005 Eskil Steenberg. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS`` AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

10)

GraphicsMagick makes use of third-party "delegate" libraries to support certain optional features. These libraries bear their own copyrights and licenses, which may be more or less restrictive than the GraphicsMagick license. For convenience, when GraphicsMagick is bundled with (or compiled with) "delegate" libraries, a copy of the licenses for these libraries is provided in a "licenses" directory.